

**宇治市教育委員会の所管する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価に関する報告書**
(令和5年度実施事業)

宇 治 市 教 育 委 員 会

《 目 次 》

．はじめに	2
1．点検評価の趣旨	
2．点検評価の対象及び方法	
．教育委員会の活動状況	3
1．教育委員会について	
2．教育委員会会議の開催状況	
3．教育委員の活動状況	
．教育委員会の所管する事務事業の管理・執行の状況	9
1．「第2次宇治市教育振興基本計画」の概要・施策体系	
2．令和5年度 各施策の進捗状況、成果及び課題	
．「宇治市教育委員会事務執行の評価に関する総括意見」	67

．はじめに

1．点検評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)第26条において、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」と規定されています。

本報告書には、同条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たしていくため、事務事業の取組状況や成果、課題を取りまとめ、それらを踏まえた事業の方向性を記載しています。

2．点検評価の対象及び方法

本市教育委員会では、令和4年3月に「第2次宇治市教育振興基本計画」(計画期間：令和4～15年度)を策定しました。この計画は、市政の最上位計画である「宇治市第6次総合計画」(計画期間：令和4～15年度)の教育分野の計画に位置付けられるものであり、教育委員会、学校、行政組織が取り組む教育指針となるもので、7つの施策から構成されています。この7つの施策に基づき令和5年度に実施した事務事業の取組実績や、効果、課題等を取りまとめました。

また、地教行法第26条の規定により、「点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」とされていることから、報告書の作成に際し、外部の有識者へ意見を求めました。外部有識者には、総合計画・教育振興基本計画の施策体系を基に、課題や今後の方向性などについて総括的な所見や助言を意見書としてまとめていただきました。

教育委員会の活動状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

1. 教育委員会について

本市教育委員会は、人格が高潔で、教育、学術、文化に関し見識を有する者から市長が市議会の同意を得て任命した教育長と4人の委員で構成されます。

宇治市教育委員会 (R6.3.31現在)

役 職 名	氏 名
教 育 長	木 上 晴 之
教育長職務代理者	加 賀 爪 毅
委 員	中 筋 斉 子
委 員	小 山 栄 子
委 員	左 聡 一 郎

2. 教育委員会会議の開催状況

原則、定例会は毎月1回、また、臨時会は必要に応じて開催しており、令和5年度は定例会を12回（前年度12回）、臨時会を6回（前年度4回）実施し、教育行政に関する重要事項等を審議しました。

4月定例会 令和5年4月25日

議事	報告第3号 専決事項の報告について 報告第4号 行政組織の変更に伴う関係規程の整備に関する規程の報告について 報告第5号 宇治市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する規程の報告について 議案第9号 宇治市生涯学習審議会委員の解嘱について
報告	1. 給食センター基本計画について 2. 給食センター検討委員会について 3. 令和4年度宇治市総合野外活動センターの利用者数について 4. 令和4年度宇治市源氏物語ミュージアム入館者数等について 5. 令和5年度の小中一貫教育の取組について 6. 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会について 7. 令和4年度情報公開の状況について 8. 「要望書」等について 9. 宇治市教育委員会後援事業について

5月定例会 令和5年5月30日

議事	報告第6号 専決事項の報告について 議案第10号 宇治市生涯学習審議会委員の委嘱について 議案第11号 令和5年6月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について
報告	1. 文教・福祉常任委員会について(令和5年5月29日) 2. 令和5年度宇治市教育研究員事業について 3. 令和5年度宇治市教職員研修講座について 4. 学校給食センターについて 5. 「要望書」等について 6. 宇治市教育委員会後援事業について

6月臨時会 令和5年6月1日

議事	議案第12号 令和5年6月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について
----	--------------------------------------

6月臨時会 令和5年6月7日

議事	議案第13号 教職員人事について
----	------------------

6月定例会 令和5年6月29日

議事	報告第7号 専決事項の報告について
報告	1. 令和5年6月市議会定例会について 2. 文教・福祉常任委員会について(令和5年6月22日) 3. 令和6年度宇治市笠取小学校特認入学希望者の募集について 4. 宇治市小中一貫教育推進協議会について 5. 「要望書」等について 6. 宇治市教育委員会後援事業について

7月定例会 令和5年7月21日

議事	報告第8号 専決事項の報告について
報告	1. 文教・福祉常任委員会について(令和5年7月12日) 2. (仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業について 3. 「要望書」等について 4. 宇治市教育委員会後援事業について

8月定例会 令和5年8月29日

議事	報告第9号 専決事項の報告について 議案第14号 令和6年度使用学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書の採択について 議案第15号 令和6年度以降使用小学校教科用図書の採択について 議案第16号 令和5年9月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について
報告	1. 文教・福祉常任委員会について(令和5年8月18日) 2. 「要望書」等について

	3. 宇治市教育委員会後援事業について
--	---------------------

9月定例会 令和5年9月7日

報告	1. 文教・福祉常任委員会について（令和5年9月4日） 2. (仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業にかかる実施設計について 3. 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会の状況について 4. 宇治市教育委員会後援事業について
----	---

10月臨時会 令和5年10月20日

議事	議案第17号 宇治市立幼稚園規則の一部を改正する規則を制定するについて
報告	1. 令和6年度市立幼稚園園児募集入園願書受付状況について

10月定例会 令和5年10月30日

議事	議案第18号 宇治市生涯学習審議会委員の解嘱及び委嘱について 議案第19号 教職員を任免するについて
報告	1. 令和5年9月市議会定例会について 2. 文教・福祉常任委員会について（令和5年9月29日） 3. 「要望書」等について 4. 宇治市教育委員会後援事業について

11月定例会 令和5年11月20日

議事	議案第20号 令和5年度宇治市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書を作成するについて 議案第21号 令和5年12月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について
報告	1. 令和5年決算特別委員会について 2. 文教・福祉常任委員会について（令和5年10月31日） 3. 文教・福祉常任委員会について（令和5年11月15日） 4. 令和6年度教職員人事異動方針及び実施要綱について 5. 令和6年（2024年）宇治市二十歳のつどいについて 6. 源氏物語ミュージアムの正月臨時開館について 7. 「要望書」等について 8. 宇治市教育委員会後援事業について

12月臨時会 令和5年12月11日

議事	報告第10号 専決事項の報告について 議案第22号 令和5年12月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について
----	---

12月定例会 令和5年12月22日

報告	1. 令和5年12月市議会定例会について
----	----------------------

	2 . 文教・福祉常任委員会について（令和5年12月15日、20日） 3 . 令和5年度京都府公立学校優秀教職員表彰被表彰者について 4 . 生涯学習のあり方について 5 . 令和6年度宇治市立笠取小学校特認入学募集結果について 6 . 京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～の結果について 7 .（仮称）西小倉地域小中一貫校整備事業について 8 . 宇治市の児童・生徒数推計について 9 . 「要望書」等について 10 . 宇治市教育委員会後援事業について
--	--

1月定例会 令和6年1月22日

議事	報告第1号 宇治市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する規程の報告について
報告	1 . 第31回宇治まなびんぐフェスタ2024の開催について 2 . 「要望書」等について 3 . 宇治市教育委員会後援事業について

2月定例会 令和6年2月5日

議事	報告第2号 専決事項の報告について 議案第1号 令和6年3月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について
報告	1 . 文教・福祉常任委員会について（令和6年1月31日） 2 . 中宇治地域における学びの場について 3 .（仮称）西小倉地域小中一貫校整備事業について

2月臨時会 令和6年2月22日

議事	議案第2号 令和6年3月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について
----	-------------------------------------

2月臨時会 令和6年2月27日

議事	議案第3号 令和6年度宇治市教育の重点を策定するについて 議案第4号 教職員を任免するについて
----	--

3月定例会 令和6年3月25日

議事	報告第3号 専決事項の報告について 議案第5号 行政組織の変更に伴う関係規則の整備に関する規則を制定するについて 議案第6号 市職員を任免するについて（管理職） 報告第4号 専決事項の報告について
報告	1 . 令和6年3月市議会定例会について 2 . 文教・福祉常任委員会について（令和6年2月6日） 3 . 文教・福祉常任委員会について（令和6年2月29日） 4 . 令和6年予算特別委員会について

5 . 学校給食センター整備事業について
6 . 生涯学習のあり方（素案）について
7 . (仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業について
8 . 「要望書」等について
9 . 宇治市教育委員会後援事業について

3 . 教育委員の活動状況

教育委員の責務は、市教育行政における重要事項や基本方針を決定するなど、市の教育行政全般にわたっており、教育委員会会議以外にも、毎月、教育委員会協議会を開催して議論を深めています。

昨今では、インターネットの普及により深刻化するいじめや不登校への対応、特別な支援を要する児童生徒や外国人児童生徒への支援、放課後の子どもの居場所の確保など、教育委員会だけでは充分に対応できない課題が増えており、児童福祉部局や子育て担当部局などの市長部局と連携して課題に対処するとともに、市長と「総合教育会議」の場で積極的な情報交換を行っています。

同会議は昨年度、令和5年10月と令和6年1月に計2回開催しました。1回目は、令和4年度中の同会議で取り上げた「宇治市のインクルーシブ教育について」を受け、引き続き議論を深め、2回目は、テーマを「不登校の状況について」とし、新年度からの新たな取組に向け、市長と教育委員が意見交換や情報共有を行いました。令和6年度以降も、会議の開催など市長部局と教育委員会の連携の機会を確保してまいります。

このほかにも、教育委員は日頃から学校訪問や研修および各種行事等へ出席するなどの活動を積極的に行っており、令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置付けが5類に移行したことを受け、多くの事業がウィズコロナ・ポストコロナを前提とした実施となり、積極的に行事へ参加することができました。

(1) 学校・幼稚園訪問

学習指導要領、京都府教育振興プラン、学校教育の重点、宇治市教育振興基本計画、宇治市教育の重点の趣旨に基づく教育活動の充実を図るとともに、各学校の課題に応じた必要な支援を行うため、学校・幼稚園訪問を行っています。2年ですべての市立学校を訪問できるように計画しており、令和5年度は、6月上旬から9月下旬にかけて市立小・中学校9校を訪問し、11月に幼稚園2園の訪問を実施しました。訪問は、教育委員が学校・幼稚園教育の現場の状況、教職員や児童生徒の様子を直接目にする貴重な機会となりました。

また、入学式や卒業式等の儀式的行事にも、教育委員として可能な限り出席しました。

(2) 各種行事等への出席

開催日	会議・研修名	開催場所
令和5年 4月 3日	学校教職員辞令交付	宇治市文化センター
令和5年 4月 7日	小学校入学式	市内各小学校
令和5年 4月10日	中学校入学式	市内各中学校
令和5年 4月11日	幼稚園入園式	市内各幼稚園

令和5年 9月30日	善法人権フェスタ	コミュニティワークうじ館
令和5年10月 7日	公民館まつり	広野公民館
令和5年10月28日	公民館まつり	小倉公民館
令和6年 1月 4日	年賀交歓会	パルティール京都
令和6年 1月 8日	令和6年二十歳のつどい	宇治市文化センター
令和6年 2月25日	宇治川マラソン	京都府立山城総合運動公園
令和6年 3月 1日	市制施行記念式典	宇治市文化センター
令和6年 3月15日	中学校卒業式	市内各中学校
令和6年 3月18日	幼稚園卒園式	市内各幼稚園
令和6年 3月19日	小学校卒業式	市内各小学校

(3) 会議および研修等

開催日	会議・研修名	開催場所
令和5年 5月22日	山城地方教育委員会連絡協議会	京田辺市社会福祉センター
令和5年 5月31日	京都府市町村教育委員会連合会 定期総会・研修会	京都府総合教育センター
令和5年 7月24日	山城教科用図書採択地区協議会	八幡市役所
令和5年 8月24日	宇治市教育委員・校長会研修会 教科用図書採択勉強会	宇治市生涯学習センター 宇治市役所
令和5年10月 3日	総合教育会議	宇治市役所
令和5年10月20日	部落解放・人権政策確立要求 宇治市実行委員会総会	書面開催
令和5年11月 7日	近畿市町村教育委員会研修大会	オンライン開催
令和6年 1月11日	総合教育会議	宇治市役所
令和6年 2月 2日	京都府スクールミーティング	宇治小学校

・ 教育委員会の所管する事務事業の管理・執行の 状況

1 . 「第2次宇治市教育振興基本計画」の概要・施策体系

2 . 令和5年度 各施策の進捗状況、成果及び課題

第2次宇治市教育振興基本計画の7施策を施策ごとに総括し、取組の効果、今後の課題、方向性を自己評価しました。

1. 「第2次宇治市教育振興基本計画」の概要・施策体系

教育ビジョン

教育理念

家庭・学校・地域でささえる
宇治のひとづくり・まちづくり

目指す人間像

「ふるさと宇治」を愛し、グローバルな視点に立ち、
社会の変化を前向きにとらえ、主体的に考え行動し、
よりよい人生と「あすの宇治」を創り出せる人

計画推進の視点



子育てとは
子ども自らが育つという力をサポートすることが大切だという考え方

取り組む施策

1 自律的かつ協働的な学びの創造	2 多様性を尊重し包容力ある人間性の涵養	3 しなやかで健やかな身体 <small>からだ</small> の育成	4 学びを促す学校内外の環境整備	5 家庭・学校・地域の連携・協働促進	6 市民が学び合う生涯学習社会の進展	7 歴史と文化の継承・活用
------------------	----------------------	--------------------------------------	------------------	--------------------	--------------------	---------------

上記の各施策において、ICTを積極的に活用して取り組みます。

施策体系

施策 1 自律的かつ協働的な学びの創造

- (1) 小中一貫教育を柱とした学びの推進
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- (3) 思考力・判断力・表現力の育成
- (4) 学びに向かう力の育成
- (5) 多様なニーズに応じた教育の充実

施策 2 多様性を尊重し包容力ある人間性の涵養

- (1) 人権教育、道徳教育の充実
- (2) キャリア教育の充実
- (3) インクルーシブ教育システムの構築
- (4) 人格形成の基礎を培う幼児教育・保育の推進
- (5) 適切な生徒指導の推進
- (6) 不登校児童生徒の自立支援の推進
- (7) いじめ防止対策の充実

施策 3 しなやかで健やかな身体の育成

- (1) 運動習慣の定着
- (2) 健康教育の充実
- (3) 食育の充実
- (4) 安全教育の充実

施策 4 学びを促す学校内外の環境整備

- (1) 教育の機会均等の保障・充実
- (2) 児童虐待防止への対応
- (3) 教職員の指導力向上
- (4) 支援体制の強化
- (5) 学習環境の整備
- (6) 安全管理・学校危機管理体制の充実
- (7) 学校施設・設備の計画的な整備
- (8) 学校規模・配置の適正化
- (9) 教職員の働き方改革

施策 5 家庭・学校・地域の連携・協働促進

- (1) コミュニティ・スクールの推進
- (2) 家庭の教育力の向上・子育て支援の推進
- (3) 適切な情報発信の推進
- (4) 青少年の健全育成
- (5) 子どもの読書活動の推進

施策 6 市民が学び合う生涯学習社会の進展

- (1) 生涯学習情報の的確な提供
- (2) 生涯学習講座の充実
- (3) 市民・地域活動への支援
- (4) 生涯学習施設の機能拡充
- (5) 質の高い生涯学習環境の推進
- (6) 図書館サービスの充実

施策 7 歴史と文化の継承・活用

- (1) 歴史・文化に対する市民の意識向上
- (2) 歴史資料・伝統文化の収集・保存・活用
- (3) 歴史資料館の充実・活用
- (4) 源氏物語ミュージアムの充実・活用

2. 令和5年度 各施策の進捗状況、成果及び課題

施策1 自律的かつ協働的な学びの創造

推進施策

- (1) 小中一貫教育を柱とした学びの推進
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- (3) 思考力・判断力・表現力の育成
- (4) 学びに向かう力の育成
- (5) 多様なニーズに応じた教育の充実

		基準値	実績値				目標値
		令和2年度 (2020年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和7年度 (2025年度)
全国学力・学習状況調査における小6国語：D・C層（1）の割合（2）	D	24.1%	25.1%	26.6%			20.9%以下
	C	16.3%	26.2%	22.7%			17.9%以下
		(R3)					
全国学力・学習状況調査における小6算数：D・C層（1）の割合（2）	D	23.6%	23.3%	17.7%			21.5%以下
	C	26.4%	24.4%	33.0%			25.0%以下
		(R3)					
全国学力・学習状況調査における中3国語：D・C層（1）の割合（2）	D	21.1%	22.2%	20.7%			18.7%以下
	C	22.1%	20.1%	24.9%			20.0%以下
		(R3)					
全国学力・学習状況調査における中3数学：D・C層（1）の割合（2）	D	23.1%	22.9%	18.0%			18.6%以下
	C	33.2%	25.0%	33.8%			31.0%以下
		(R3)					
学校の授業時間以外の勉強時間が平日1日当たり30分に満たない子どもの割合(全国学力・学習状況調査)(2)	小6	19.9%	25.0%	23.2%			13.0%以下
	中3	15.9%	20.1%	21.4%			9.9%以下
話し合い活動の定着割合 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」に肯定的に回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)(2)	小6	74.1%	76.3%	78.3%			78.8%以上
	中3	70.3%	72.7%	76.4%			77.8%以上
		(R3)					
課題解決型学習の定着割合 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。」に肯定的に回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)(2)	小6	63.4%	62.6%	63.2%			73.0%以上
	中3	57.3%	61.0%	64.1%			70.2%以上
		(R3)					
ICTの定着割合 「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。」に肯定的に回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)	小6	94.1%	96.0%	94.0%			100%
	中3	93.6%	91.2%	90.7%			100%
		(R3)					

- 1 全国学力・学習状況調査の受験者数を25%ずつに区分し、その区分の境にある正答数を基準として、上位からA層、B層、C層、D層とするものです。
- 2 目標値は令和3年度の全国平均値です。
- 3 網掛けは目標値を達成している指標です。

取組の効果

- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、各ブロックでの体験活動、児童生徒交流活動を再開した。
- ・また、各ブロックで合同研修会や研究部会を開催し、児童生徒の学力調査結果の分析や学習課題の共有を行うなど、児童生徒の学力課題の改善に向けた教育活動を展開した。
- ・併せて、宇治市小中一貫教育推進協議会が取組全般の進行管理を行うことで、各ブロックでの組織的な実践を進め、着実に小中一貫教育を進めることができた。
- ・「宇治学」では、小学校第3学年から中学校第3学年の7学年で副読本及び手引書を活用した探究的な学習を推進し、主体的・対話的で深い学びの実現に努めるとともに、校長会との協働によるアクションプラン、ICTを活用した授業改善、少人数指導や基礎学力課題支援費による非常勤講師の配置等を活用した個別指導、補習授業などを通して、基礎的・基本的な知識・技能の定着に努めた。
- ・学校司書による授業支援、英語指導助手の派遣等を有効に活用することで、児童生徒の主体的で深い学びを引き出し、思考力・対話力・判断力・表現力等の育成に努めた。

今後の方向性・課題等

- ・小中一貫教育については、子どもにとって、より良い育ちの場をつくるとともに、より良い学びとなるように子ども自身に見通しをもたせた教育活動を行うことを重視し、より効果的な取組になるよう成果や課題の検証を続ける必要がある。
- ・「宇治学」副読本をタブレット端末で活用できるよう、デジタル化を進める。
- ・校長会と共に取り組んでいる「学力低位層児童生徒のことばの力の育成」が、同層の学力の改善、向上に大きく寄与しており、宇治市独自に行っている低学年期からの学力調査の分析と合わせて、基礎・基本の一層の充実につなげたい。
- ・今後も、継続的に小中一貫教育にかかるアンケート調査の結果を追い、エビデンスに基づく議論ができるよう、改善を図っていく。

外部委員評価・意見等

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した時期に合わせて、小中一貫教育の到達目標の見直しがなされている。それは「つながり」を大切に、子どもと子ども、子どもと教職員、教職員と教職員、学校と地域、それぞれのつながりを大切にしようとするもので、小中一貫教育の理念がより深まったと受け止めることができる。またその目標の示し方にも工夫がみられ、より具体的で、簡潔でわかりやすい表現によりその目標が示され、具体的な取組も簡潔にそして明確に示され、たいへんわかりやすいものになっている。小中一貫教育に対する理解が一層進み、さまざまな「つながり」が生まれ、取組が豊かになっていくことが期待される。

小中一貫教育の取組は、今後、就学前教育との連携について検討が進められていくことになる。令和5年度に設置された宇治市乳幼児教育・保育推進協議会での協議がはじまり、就学前教育の新たな体制の構築の中で小学校との関係が重要な課題となるであろうし、それは小中一貫教育のあり方も大きく関係していくものと思われる。今後の動きに注目したい。

そのほか、低学年期からの学力調査も開始され、子どもの躰きをしっかりと把握して、それに応じた指導を進めようとしており、重要な取組だと言える。基礎学力の定着について市全体で取り組む体制となっており、D層が減少し、C層が増加する傾向がみられ、底上げが進んでいるように思われる。

学校司書や英語指導助手による授業の支援が活発になされており、子どもの学びを豊かにする試みも有効であるように思われる。多様な専門家による支援は重要であり、充実させていただきたい。

施策1 の主な取組(事業)

事務事業名	(仮)西小倉地域小中一貫校整備事業費	所管課 決算額	学校改革推進課 1,274,028 千円												
事業内容	小中一貫教育を推進するため、西小倉中学校敷地に宇治市2校目となる施設一体型小中一貫校を整備する。														
成果・実績	<p>令和8年4月開校予定の(仮称)西小倉地域小中一貫校整備に向けて、下記の業務を行った。</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" data-bbox="448 573 1198 869"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校舎等設計業務 令和3年度からの3か年業務</td> <td>206,580</td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校敷地内排水路改修設計業務</td> <td>7,132</td> </tr> <tr> <td>工事車両進入仮橋設置工事</td> <td>21,399</td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校敷地内排水路改修工事 令和5年度からの2か年工事</td> <td>14,100</td> </tr> <tr> <td>校舎等建設工事(建築・機械・電気) 令和5年度からの3か年工事</td> <td>1,013,360</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="360 931 890 1227">  <p style="text-align: center;">東門から見た校舎イメージ</p> </div> <div data-bbox="900 931 1430 1227">  <p style="text-align: center;">北門から見た校舎イメージ</p> </div> </div>			項目	金額	校舎等設計業務 令和3年度からの3か年業務	206,580	西小倉中学校敷地内排水路改修設計業務	7,132	工事車両進入仮橋設置工事	21,399	西小倉中学校敷地内排水路改修工事 令和5年度からの2か年工事	14,100	校舎等建設工事(建築・機械・電気) 令和5年度からの3か年工事	1,013,360
項目	金額														
校舎等設計業務 令和3年度からの3か年業務	206,580														
西小倉中学校敷地内排水路改修設計業務	7,132														
工事車両進入仮橋設置工事	21,399														
西小倉中学校敷地内排水路改修工事 令和5年度からの2か年工事	14,100														
校舎等建設工事(建築・機械・電気) 令和5年度からの3か年工事	1,013,360														
自己評価	宇治市2校目となる施設一体型小中一貫校の令和8年4月開校に向けて、(仮称)西小倉地域小中一貫校整備に係る設計業務を実施した。また令和5年度から各種整備工事を開始しており、生徒の安全確保を第一としながら、着実に進める。														

事務事業名	小中一貫教育推進費	所管課	学校教育課
		決算額	31,944 千円
事業内容	義務教育9年間の学びの連続性を意識した系統的、継続的な指導を行うことで、子どもの学習意欲を高め、確かな学力を身に付けさせることをねらいとした小中一貫教育を推進する。		
成果・実績	<p>全小中学校で小中一貫教育を推進するにあたり、令和元年度より全ての中学校に配置しているラーニングコーディネーター及び教科連携教員が系統的・継続的指導を行うとともに、各中学校ブロックでの広報・啓発等を行った。</p> <p>また、「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中一貫教育取組推進教員の配置 31,800 千円 小中一貫教育非常勤講師として、ラーニングコーディネーターの補充教員を全中学校ブロックに配置するとともに、府費小中連携教員配置校5校を除く中学校ブロックに教科連携教員を配置することで、系統的・継続的指導を進めた。 ・ 宇治市小中一貫教育推進協議会 144 千円 学識経験者、保護者、地域関係団体、教職員により構成し、年間2回会議を開催、宇治市小中一貫教育の取組についての進行管理を行った。また、中学校ブロックへの視察を4回実施し、意見交換や協議を行った。 		
自己評価	ラーニングコーディネーターを要とした小中一貫教育推進体制を基盤に、各中学校ブロックの課題を焦点化させることにより、目指す子ども像や学力観について理解を深め、とりわけ、学力定着・向上に向けた取組を進めた。引き続き、小中一貫教育の取組を推進する。		

事務事業名	学校図書館費	所管課	学校教育課
		決算額	44,712 千円
事業内容	児童生徒の基礎学力の定着・向上のため、学校司書の配置と学校図書館ボランティアの活用により図書館教育の充実を図る。また、学校図書館ボランティアの養成のため、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得する講座を開催する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館教育充実事業費 29,215千円 令和元年度より各中学校ブロックに学校司書を配置し、児童生徒の学習活動及び読書活動の充実を図った。 ・ 図書館ボランティア養成事業費 29千円 学校図書館ボランティア養成講座を1回開催 (ボランティア登録者数 270人) ・ 学校図書館図書充実費 小学校 7,778千円、中学校 7,690千円 		
自己評価	学校司書が定期的に巡回し、児童生徒や教員の学習ニーズに応じた資料準備・提供をするなど、授業支援を行うことができた。また、図書館環境整備を進めた結果、学校図書館標準達成校が増加した。今後も児童生徒の基礎学力の定着・向上のための取組をより一層推進する。		

事務事業名	英語指導助手設置費	所管課	学校教育課																				
		決算額	36,814 千円																				
事業内容	<p>児童生徒の国際理解教育とコミュニケーション能力の向上を図るため、英語指導助手(以下「AET」とする。)を、幼稚園、小中学校に派遣する。 また、AETを英語教員の研修で活用するとともに、生涯学習の一環として市民への学習機会での活用を図る。</p>																						
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・JETプログラムのAETを市立小中学校へ派遣した。 ・また、市立幼稚園にも定期的にAETを派遣した。 ・ふれあい教室にも、要請に応じてAETを派遣した。 																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">派遣日数</th> <th colspan="2">人員配置</th> </tr> <tr> <th>学校</th> <th>日数</th> <th>学期</th> <th>JET</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>962日</td> <td>1学期(6月～)</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>630日</td> <td>2～3学期</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>62日</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			派遣日数		人員配置		学校	日数	学期	JET	小学校	962日	1学期(6月～)	8人	中学校	630日	2～3学期	10人	幼稚園	62日		
	派遣日数		人員配置																				
学校	日数	学期	JET																				
小学校	962日	1学期(6月～)	8人																				
中学校	630日	2～3学期	10人																				
幼稚園	62日																						
自己評価	AETを小中学校、幼稚園へ派遣し、園児、児童生徒の国際理解とコミュニケーション能力の向上を図った。引き続きAETの効果的な活用を検討し、事業を推進する。																						

事務事業名	小・中学校教材充実費	所管課	学校教育課					
		決算額	47,815 千円					
事業内容	<p>各教科の授業等で必要な教材について、学校間の格差が生じないように配慮しながら、教材等の充実を図り、教育環境の充実を図る。</p>							
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の一般教材備品、理科教育振興備品などの充実を図り、教育環境の整備に努めた。 							
	(単位:千円)							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校教材充実費</td> <td>31,651</td> </tr> <tr> <td>中学校教材充実費</td> <td>16,164</td> </tr> </tbody> </table>			項目	金額	小学校教材充実費	31,651	中学校教材充実費
項目	金額							
小学校教材充実費	31,651							
中学校教材充実費	16,164							
自己評価	教材を適正に購入し、児童生徒の教育環境の整備・充実を図った。ICT教育に係る教材の充実を含め、引き続き教育環境の整備・充実に努める。							

事務事業名	基礎学力課題支援費	所管課	学校教育課
		決算額	5,778 千円
事業内容	<p>児童生徒の基礎学力の定着・向上及び希望進路の実現を図るため、非常勤講師の配置及び補習授業・学習相談の実施、教材・参考図書の配付などを行う。</p>		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを保障する観点から、引き続き中学校において、少人数授業の指導方法の改善を図るとともに、希望者を対象とした補習授業及びテスト前の学習相談会などを実施した。 ・指導方法及び指導機会の方策について全小中学校へ啓発するとともに、児童生徒の学力の充実、希望進路実現に向けて、教材・参考図書の配付等を行った。 		
自己評価	<p>児童生徒の基礎学力の定着、学習意欲の向上を図るとともに、家庭と連携した取組を進めることにより、学びを止めず希望進路の実現につながる支援を行うことができた。今後も児童生徒の実態に応じて、学習相談を進めたり、指導方法の工夫改善に向けた検討を行う。</p>		

事務事業名	「宇治学」推進事業費	所管課	学校教育課
		決算額	1,482 千円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特色のある小中一貫教育として、全ての市立小学校第3学年から中学校第3学年の7学年を対象に、「宇治学」と称した「総合的な学習の時間」を実施している。 ・ この「宇治学」の指導充実を図るため、「宇治学」副読本及び指導の手引きを作成し、対象児童生徒全員と教員に貸与する。 ・ また、すべての市立小学校3年生の宇治抹茶体験学習への支援を実施する。 		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改訂版の発行から4か年が経過した「宇治学」副読本及び指導の手引き(小学校6年生)、同じく3か年が経過した同副読本(中学校1年生)を改訂し、指導の手引きを担当教員に貸与した。 テーマ <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ふるさと宇治」の魅力大発信(小学校6年生) ・ 命 そして「ふるさと宇治」を守る ～ 私たち中学生としてできること～(中学校1年生) ・ 地域への関心が高まるよう、年に2回、全ての市立小学校(22校)へ抹茶を配布し、地域人材の協力を得るなど工夫して、3年生がお点前体験を実施できるようにしている。 		
自己評価	<p>新情報・新制度に対応できるよう、「宇治学」副読本及び指導の手引きを改訂し、児童生徒及び各担当教員に貸与した。今後も各校での「宇治学」の探究的学習がさらに充実したものとなるよう支援・広報に努める。</p>		

事務事業名	「宇治学」デジタル化事業費	所管課	学校教育課
		決算額	948 千円
事業内容	<p>本市では、「宇治学」副読本を作成し、総合的な学習の時間の中で特色ある教育活動に取り組んでいる。この副読本を令和5～8年度の改訂時期に合わせてデジタル教材化し、タブレット端末で活用できるようにする。</p>		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル教材化し、タブレット端末で活用できるようにしたことで、より分かりやすく、充実したICT教育を推進できた。 ・ 令和5年度は、小学校6年生と中学校1年生(7年生)用の副読本をデジタル化。令和6年度からタブレット端末で活用している。 		
自己評価	<p>デジタル化した副読本を活用することにより、児童生徒の「主体的、対話的で深い学び」が促され、宇治学での学びが、より探究的で深いものとなった。今後も改訂に合わせてデジタル教材化を行い、「宇治学」(総合的な学習の時間)の充実につなげる。</p>		

事務事業名	スクール・サイエンス・サポート事業費	所管課	学校教育課												
		決算額	188 千円												
事業内容	学力向上の第一歩となる、児童生徒の「知りたい」、「学びたい」という興味、関心を高めるため、京都大学の協力を得ながら、科学教室、施設見学などの取組を進める。														
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下記3事業を実施した。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">事業名</th> <th style="width: 33%;">実施場所</th> <th style="width: 33%;">対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏休み親子理科教室in京大</td> <td>京都大学宇治キャンパス</td> <td>小学5・6年生と保護者</td> </tr> <tr> <td>京都大学出前講座</td> <td>木幡小学校</td> <td>小学5年生</td> </tr> <tr> <td>宇治市中学生理科教室</td> <td>京都大学宇治キャンパス</td> <td>中学校科学(理科)部員</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施場所	対象者	夏休み親子理科教室in京大	京都大学宇治キャンパス	小学5・6年生と保護者	京都大学出前講座	木幡小学校	小学5年生	宇治市中学生理科教室	京都大学宇治キャンパス	中学校科学(理科)部員
	事業名	実施場所	対象者												
夏休み親子理科教室in京大	京都大学宇治キャンパス	小学5・6年生と保護者													
京都大学出前講座	木幡小学校	小学5年生													
宇治市中学生理科教室	京都大学宇治キャンパス	中学校科学(理科)部員													
自己評価	京都大学との連携により、児童生徒の興味や関心、学びへの意欲を高める取組を実施できた。とりわけ夏休み親子理科教室は、保護者、児童に好評であった。今後も同大学との連携を図り、児童生徒の学習意欲の向上につながる取組を検討する。														

事務事業名	学びのステップアップ事業費	所管課	学校教育課																					
		決算額	2,030 千円																					
事業内容	<p>小学校2・3年生を対象に学力調査を実施し、結果を分析することにより、個々の強みと弱みを低学年から把握し、授業改善につなげる。</p> <p>また、子ども一人ひとりの学校や家庭での学習を充実させることで、基礎学力の定着と家庭での学習習慣を確立し、宇治市における学力の課題の解決を図る。</p>																							
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語能力や認識力が高まる低学年に課題を確認し、授業改善を行うなど、有効な手立てを早い段階から継続的に講じることができた。 ・ また、調査結果をAIDリルと連携して活用し、積み残しを解消するために、個に応じた課題に取り組みさせることができた。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">令和5年11月9日</td> <td style="width: 10%;">:</td> <td style="width: 60%;">教職員向け事前説明会</td> </tr> <tr> <td>11月20～27日</td> <td>:</td> <td>調査実施</td> </tr> <tr> <td>令和6年1月19日</td> <td>:</td> <td>各校へ結果データ返却</td> </tr> <tr> <td>1月30日</td> <td>:</td> <td>児童・保護者へ個人票返却</td> </tr> <tr> <td></td> <td>:</td> <td>伸びと弱点の確認、新学年に向けた目標設定</td> </tr> <tr> <td>2月16日</td> <td>:</td> <td>教職員向け事後説明会</td> </tr> <tr> <td></td> <td>:</td> <td>結果をAIDリルと連携し活用</td> </tr> </table>			令和5年11月9日	:	教職員向け事前説明会	11月20～27日	:	調査実施	令和6年1月19日	:	各校へ結果データ返却	1月30日	:	児童・保護者へ個人票返却		:	伸びと弱点の確認、新学年に向けた目標設定	2月16日	:	教職員向け事後説明会		:	結果をAIDリルと連携し活用
	令和5年11月9日	:	教職員向け事前説明会																					
11月20～27日	:	調査実施																						
令和6年1月19日	:	各校へ結果データ返却																						
1月30日	:	児童・保護者へ個人票返却																						
	:	伸びと弱点の確認、新学年に向けた目標設定																						
2月16日	:	教職員向け事後説明会																						
	:	結果をAIDリルと連携し活用																						
自己評価	低学年に学力調査を実施し、早期に児童、保護者、学校が学習でのつまづきを把握することで、個別の指導や授業改善を行うなど、学力向上への対策を行うことができた。また、調査結果のデータを活用して個別最適な学習課題に取り組み、確かな学力をはぐくむことができるよう努める。																							

施策2 多様性を尊重し包容力ある人間性の涵養

推進施策

- (1) 人権教育、道徳教育の充実
- (2) キャリア教育の充実
- (3) インクルーシブ教育システムの構築
- (4) 人格形成の基礎を培う幼児教育・保育の推進
- (5) 適切な生徒指導の推進
- (6) 不登校児童生徒の自立支援の推進
- (7) いじめ防止対策の充実

		基準値	実績値				目標値
		令和2年度 (2020年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和7年度 (2025年度)
人権意識の定着割合 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)	小6	96.20%	96.60%	96.50%			100%
	中3	95.90%	94.50%	93.60%			100%
		(R3)					
自己存在感の涵養割合 「自分によいところがあると思いますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)(1)	小6	72.50%	71.20%	80.70%			76.90%
	中3	72.60%	75.80%	76.90%			76.20%
		(R3)					
通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の個別の指導計画作成率(市状況調査)		72.5%	77.7%	78.8%			100%
市主催幼小合同研修講座・幼児教育研修講座への参加者数(開催時に把握)		101人 (R1)	73人	138人			131人
在籍児童生徒数に占める問題行動を起こした実人数の割合	小学校	2.40%	2.28%	2.09%			2.40%未満
	中学校	7.27%	4.69%	6.12%			7.27%未満
		(R1)					
在籍児童生徒数に占める不登校児童生徒の割合(2)	小学校	0.77%	1.47%	1.67%			0.77%未満
	中学校	3.11%	4.78%	5.20%			3.11%未満
		(R1)					
在籍児童生徒数に占めるいじめ認知実人数の割合	小学校	20.10%	23.22%	22.39%			20.1%未満
	中学校	4.60%	3.15%	3.42%			4.6%未満

1 目標値は令和3年度の全国平均値です。

2 目標値は令和元年度の京都府平均値です。

3 網掛けは目標値を達成している指標です。

取組の効果

- ・ 就園支援委員会では、的確な実態把握と、必要となる教育的支援方策の検討を通して、個に応じた支援や体制のみならず、その土台となる教育・保育を改善・充実する視点を持つことができ、インクルーシブの教育の視点を含んだ保育の実現につながった。
- ・ 児童生徒の道徳性を養うため、発達の段階に応じて児童生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」への取組を進めた。

今後の方向性・課題等

- ・ 就園支援委員会では、入園後、集団生活を経験する中で、乳幼児健診や家庭では見えなかった課題が生じるケースや、保護者の子に対する障害受容が進まないケースについても議題にするなど、引き続き積極的に支援策を検討していく必要がある。
- ・ 就学支援委員会では、特別な支援を必要とする児童生徒に対して、障害の状態や教育的支援方策などを検討しながら参観や体験を実施するとともに、児童生徒の教育的ニーズにあった就学や進路の相談を行う。また、学校の管理体制を整えることで医療的ケアを適切に実施していく。
- ・ 特別支援教育コーディネーターの取組は小中一貫教育にとっても重要で、学校全体での支援体制を整備することにつながっている。これからもこの体制を維持し、系統的に支援できるように取り組んでいく必要がある。
- ・ 幼小合同研修講座等は、令和7年度開設予定の(仮称)宇治市乳幼児教育・保育支援センターを中心として、教育部と福祉部局が一体となって連携、協働し、市内就学前施設と小学校のネットワーク構築を進めていくことで、参加者数を増やしていく必要がある。

外部委員評価・意見等

施策2に関わっては、総合教育会議において、第1回ではインクルーシブ教育について、第2回では不登校の問題が取り上げられており、宇治市においてたいへん重視されている施策であることが伝わってくる。

インクルーシブ教育については、「宇治市インクルーシブ教育システム研究協議会」が設置され、令和5年度から3年間、研究モデル校を指定して、そのシステム構築のための研究が進められることが説明されていた。総合教育会議での議論では、福祉の視点、市長部局との連携についても問題提起がなされていた点が注目される。

不登校の問題については、令和5年度において小学校、中学校とも増加しており、重大な課題となっている。総合教育会議では、広い視野から不登校の問題が議論されており、勉強になった。不登校の子どもへの支援のあり方は様々に試みられる必要があるが、多様な機会、場が整備され、様々な専門性のある方々が関わることで求められると思われる。

推進施策(4)人格形成の基礎を培う幼児教育・保育の推進にかかわって、宇治市乳幼児教育・保育推進協議会での協議は非常に重要であり、注目される。人材育成に取り組みながら教育・保育の充実を図ろうとするものであり、その成果が期待される。

いきいき学級支援員、インクルーシブサポーター、学校看護師、多様な専門家による学校支援チームの設置、「心と学びのパートナー」、不登校児童支援員など、障害のある子どもや不登校の子どもを支援する人員の配置に積極的に取り組まれている。また学校内にもう一つの居場所をつくり、別室での支援にも取り組まれている。さらに不登校児童生徒支援事業、家庭教育アドバイザー事業では、福祉部局と連携し、アウトリーチ型の新たな教育支援体制の構築にも取り組んでいる。非常に充実していると思う。

施策2 の主な取組(事業)

事務事業名	小・中学校特別支援教育費	所管課	学校教育課																				
		決算額	8,714 千円																				
事業内容	<p>特別な支援を必要とする児童生徒の就学を保障するため、特別支援学級を設置し、児童生徒の発達促進と学力充実に努める。また、義務教育を保障するため、就学奨励費の支給事業を行い、特別支援学級に在級する児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図る。</p>																						
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級開設費 (単位:千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校分 (20校、45学級)</td> <td>1,141</td> </tr> <tr> <td>中学校分 (10校、24学級)</td> <td>867</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育費 (単位:千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校分</td> <td>4,324</td> </tr> <tr> <td> 扶助費</td> <td>3,429</td> </tr> <tr> <td> 備品等</td> <td>895</td> </tr> <tr> <td>中学校分</td> <td>2,382</td> </tr> <tr> <td> 扶助費</td> <td>1,995</td> </tr> <tr> <td> 備品等</td> <td>387</td> </tr> </tbody> </table>			区分	事業費	小学校分 (20校、45学級)	1,141	中学校分 (10校、24学級)	867	区分	事業費	小学校分	4,324	扶助費	3,429	備品等	895	中学校分	2,382	扶助費	1,995	備品等	387
	区分	事業費																					
小学校分 (20校、45学級)	1,141																						
中学校分 (10校、24学級)	867																						
区分	事業費																						
小学校分	4,324																						
扶助費	3,429																						
備品等	895																						
中学校分	2,382																						
扶助費	1,995																						
備品等	387																						
自己評価	<p>就学奨励費の支給を適正に執行し、特別な支援を必要とする児童生徒の教育機会の確保を図った。また、特別支援教育にかかる物品の購入により教育環境の充実に図った。引き続き、すべての子どもが均等に義務教育を受けられるよう、適正な事業実施に努める。</p>																						

事務事業名	いきいき学級支援員設置費	所管課	学校教育課
		決算額	19,993 千円
事業内容	<p>通常の学級での発達障害を含む障害のある児童生徒の学習面及び生活面での課題の改善を図るため、各小中学校に支援員を配置して支援体制を整備することにより、特別支援教育の充実に努める。</p>		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の個別の指導計画に基づき、京都府特別支援教育充実事業対象校を除く小中学校に「いきいき学級支援員」を配置し、授業の指導補助及び個別指導などを行った。 いきいき学級支援員の配置状況 小学校 15校 中学校 9校 通常学級における特別な教育的支援が必要な児童生徒 1,513人 (11.9%) 		
自己評価	<p>支援員の配置により特別支援教育体制を整備し、学習・生活の両面において課題の改善を図った。発達障害への対応について、学校の役割は大きくなる傾向にあり、引き続き効果的な支援体制の検討を続ける。</p>		

事務事業名	小・中学校「総合的な学習の時間」推進費	所管課	学校教育課									
		決算額	6,331 千円									
事業内容	画一的な授業ではなく、地域及び子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開する。国際理解、環境、情報、福祉、健康など従来の教科等の枠を超えた横断的、総合的な学習をより円滑に実施する。											
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」推進費 <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>主な学習内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校分</td> <td>キャリア教育</td> <td>3,386</td> </tr> <tr> <td>中学校分</td> <td>キャリア教育、国際(異文化)理解</td> <td>2,945</td> </tr> </tbody> </table>			区分	主な学習内容	事業費	小学校分	キャリア教育	3,386	中学校分	キャリア教育、国際(異文化)理解	2,945
	区分	主な学習内容	事業費									
	小学校分	キャリア教育	3,386									
中学校分	キャリア教育、国際(異文化)理解	2,945										
自己評価	社会人講師等の外部人材を活用することにより、従来の授業とは異なる総合的な学習を実施し、自主的・実践的な態度を育成する教育振興を図った。今後も、探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能や、主体的かつ協働的な取組方、積極的な社会参画の態度の習得に向けて、総合的な学習を推進する。											

事務事業名	多様な学びの場創造事業費	所管課	学校教育課
		決算額	8,456 千円
事業内容	インクルーシブ教育システムの構築を目指し、障害のある子ども一人ひとりに適切な支援及び学びの場を保障するため、多様な教育的ニーズに対応できる支援体制づくりを行うとともに、教員の専門性を高め、支援の充実を図る。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル校に元教員で特別支援教育について専門性の高いインクルーシブサポーターを配置し、まずは特別支援学級に在籍している児童生徒へのきめ細やかな支援及び指導、支援体制の構築などについて研究を進めた。 ・研究員、インクルーシブサポーター及びモデル校の管理職を対象に、インクルーシブ教育における先進校へ視察を2回実施した。 <p style="text-align: center;">視察先 大阪市立大空小学校 厚木市立毛利台小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究内容の検討や進捗状況等を確認するため、下記の会議を開催した。 <p style="text-align: center;">インクルーシブサポーター会議(月1回開催) 宇治市インクルーシブ教育システム研究協議会(令和5年6月開催) プロジェクト会議(令和6年3月開催)</p>		
	自己評価	研修等を通して、インクルーシブ教育は、通常の学級も含めた学校全体で行うものだという教員の意識改革を促し、授業のユニバーサルデザイン化等の授業改善に取り組んだ。多角的な視点から児童生徒の実態把握を行い、よりよい支援方法及び支援の場の検討を行うとともに特別支援学級での授業形態を見直し、小集団での一斉授業を充実させることで、互いを知り認め合う関係づくりが進んだ。今後も多様な児童生徒へのきめ細やかな支援体制の構築を推進する。	

事務事業名	安心子育て支援事業費	所管課	学校教育課
		決算額	3,847 千円
事業内容	医療的ケア児に対する保育及び教育の拡充に係る施策を実施することにより、医療的ケア児の健やかな成長を図る。合わせて、就学前施設との連携により、切れ目のない支援を行うとともに、その家族を支援し、安心して子育てできる環境をつくる。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 該当校への学校看護師配置(4月) <li style="padding-left: 20px;">10月宿泊学習への看護師対応のため民間派遣業者を活用 ・ 医療的ケア検討会議 <li style="padding-left: 20px;">第1回(令和5年11月開催) 令和6年度医療的ケア児の受け入れについて検討 (医療的ケア実施の可否、認定基準に基づく区分認定等について) <li style="padding-left: 20px;">第2回(令和6年1月開催) 令和6年度学校看護師配置等について検討 ・ 京都府主催の医療的ケア児支援者養成研修への参加(令和6年1月開催) 		
自己評価	4名の学校看護師を配置し、医療的ケア児への必要な医療行為を行うことにより、医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに保護者が安心した子育てや就労が行える環境を確保できた。今後も児童が安心して教育を受けることができるよう事業を進める。		

事務事業名	学校支援チーム活動費	所管課	教育支援課
		決算額	10,462 千円
事業内容	いじめ及び不登校といった教育課題への取組を推進するため、学校現場のみでは解決困難な問題について、組織的、体系的な支援を行う。		
成果・実績	<p>校長OBである学校教育指導主事による市立小中学校への相談対応などの日常的な支援を行うとともに、学校だけでは解決が困難な事象や、解決にあたり時間を要する問題について、社会福祉士、臨床心理士、弁護士、精神科医、警察官、児童相談所員といった専門家を交えた「宇治市学校支援チーム」を設置し、専門的見地からの指導助言による支援を行った。</p> <p>さらに、顧問弁護士による法律相談、スクールソーシャルワーカーによる学校現場の困難な事象解決へ向けたアプローチにより、効果的な支援を行った。</p> <p style="text-align: center;">支援チーム会議開催数 8回</p>		
自己評価	学校現場の円滑な運営のため専門家による学校支援チームを設置し、専門的・組織的な支援を行うことで、学校現場で起こる困難事例に対しても解決を図ることができた。今後も効果的な学校支援に努める。		

事務事業名	生徒指導研究推進費	所管課	教育支援課									
		決算額	1,366 千円									
事業内容	<p>児童生徒の問題行動は低年齢化等の課題があり、適切な指導体制、相談体制を確保するため、生徒指導の推進と研究、指導体制の整備等を行う。 また、「いじめ防止啓発月間」を設定し、いじめ防止の取組を強化する。</p>											
成果・実績	<p>児童生徒の問題行動に対して適切な指導を行うために、生徒指導主任会議を開催して事例交流等を行い、学校の組織としての対応力の向上を図った。 11月の「いじめ防止啓発月間」に啓発活動として、市政だよりへの掲載等の広報活動を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>指導人数 (延べ人数)</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>206人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>352人</td> <td>+76人</td> </tr> </tbody> </table>			区分	指導人数 (延べ人数)	前年比	小学校	206人	37人	中学校	352人	+76人
区分	指導人数 (延べ人数)	前年比										
小学校	206人	37人										
中学校	352人	+76人										
自己評価	<p>生徒指導の事例研究や研修により児童生徒の問題行動に対する個々の対応力の向上が図れるとともに、校内での指導体制の整備を図ることにより、問題行動に対する適切な指導が行えた。今後とも、個人、組織の対応力を高めるための取組が重要である。</p>											

事務事業名	不登校児童生徒自立支援教室運営費	所管課	教育支援課												
		決算額	4,751 千円												
事業内容	<p>不登校の児童生徒に対して、社会的自立ができるように教室を開設し、小集団による援助・指導を行う。また、家庭に引きこもった状態やその傾向があり、友人などとの接触が困難である児童生徒に対して個別支援を行う。</p>														
成果・実績	<p>小学校3年生から中学校3年生までの不登校児童生徒に対して、個々の状態に応じて不登校児童生徒自立支援教室(Ujiふれあい教室)で受け入れ、学校、保護者、関係機関と連携を図り、社会的自立に向けて支援を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">在籍数</th> <th>28人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">改善状況</td> <td>学校復帰</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>部分登校</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>好転</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>変化なし</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>			在籍数		28人	改善状況	学校復帰	5人	部分登校	12人	好転	10人	変化なし	1人
在籍数		28人													
改善状況	学校復帰	5人													
	部分登校	12人													
	好転	10人													
	変化なし	1人													
自己評価	<p>不登校児童生徒自立支援教室での支援・指導を通じ、不登校の児童生徒の学校生活及び社会生活への復帰、社会的自立に向けての支援を図った。今後も学校及び関係機関との連携を強化し、効果的な教室運営に努める。</p>														

事務事業名	心と学びのパートナー派遣事業費	所管課	教育支援課
		決算額	1,269 千円
事業内容	問題行動及び不登校の未然防止を図るため、生徒が身近に感じる大学(院)生、教員志望者などの若い世代、もしくは教職経験者などの相談員を配置し、いつでも気軽に相談できる環境をつくる。		
成果・実績	別室登校及び不登校傾向の生徒の悩みに気軽に応じる相談員を「心と学びのパートナー」として、市内5中学校に派遣した。 延べ対応人数 929人		
自己評価	生徒が悩みを気軽に相談できる若い世代等の相談員を配置し、関係機関等と連携しながら問題行動及び不登校の未然防止を図った。今後も不登校対策事業全体の中で、体系的な事業効果の向上に努める。		

事務事業名	不登校児童生徒支援事業費	所管課	教育支援課
		決算額	6,170 千円
事業内容	不登校の児童生徒の支援や学校への助言・援助などを行うコーディネーター、支援員などを配置し、学校におけるケース会議の支援や、家庭訪問(アウトリーチ)などを通して、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援を行う。		
成果・実績	全小中学校への巡回訪問や、学校と共に不登校児童生徒への支援に取り組む中で、教職員の不登校への理解が一層進んだ。また、重要案件で協働することにより、福祉部局との連携が強化された。 個別の不登校児童生徒の支援方法の検討数 50ケース 不登校児童生徒数 373人 (小学校 143人、中学校 230人)		
自己評価	不登校児童生徒、家庭への支援をコーディネーターを中心として行うとともに、福祉部局との連携を図る中で社会的な自立に向けて組織的に取り組んだ。引き続き教育と福祉の連携を深め、学校を取り巻く様々な福祉的課題の解決に努めるとともに、不登校児童生徒の社会的自立の支援に努める。		

事務事業名	家庭教育アドバイザー事業費	所管課	教育支援課
		決算額	1,675 千円
事業内容	孤立している家庭への支援をより早期に可能とするため、教育委員会と福祉部局が連携し、アウトリーチ型の教育支援体制を構築し、就学前から就学後にわたって切れ目のない支援に取り組む。		
成果・実績	伊勢田小学校へ家庭教育アドバイザー1名を配置し、子育てや児童の登校しぶりなどの悩みや不安を抱える家庭に対して訪問や面談を行い、保護者と会話する機会を設けることで課題の改善・解消に寄与した。 支援家庭数 25件		
自己評価	関係機関と連携し、悩みや不安を抱える家庭への訪問や相談を実施した。引き続き課題の深刻化を未然に防止するため、関係機関と連携し、家庭の情報を共有することで、早期の対応、保護者支援に努める。		

事務事業名	不登校児童支援強化費	所管課	教育支援課
		決算額	2,183 千円
事業内容	登校はできるものの、教室に入ることが難しい児童に、学びの場の選択肢を広げるため、小学校5校に不登校児童を支援する不登校児童支援員を配置し、校内におけるもう一つの居場所を確保する。		
成果・実績	<p>小学校の別室へ常駐できる支援員を配置することで安定した別室運営を行うことができた。</p> <p>また、支援員を配置した5校においては、ほとんど登校できなかった児童が別室へ登校できるようになった事例や、別室から所属学級へ入ることができ始めた等の事例があり、不登校児童への支援に資することができた。</p> <p>配置校 北槇島小学校、西小倉小学校、西大久保小学校、岡屋小学校、木幡小学校</p> <p>別室登録児童数 5校計 20人</p>		
自己評価	来室児童への学習補助や悩みや不安を聞くなど、児童に寄り添った対応を実施した。引き続き、関係職員と連携し、通常学級への復帰をはじめ、不登校の未然防止や欠席日数の減少を図るなど、来室児童への支援に努める。		

施策3 しなやかで健やかな身体の育成

推進施策

- (1) 運動習慣の定着
- (2) 健康教育の充実
- (3) 食育の充実
- (4) 安全教育の充実

		基準値	実績値				目標値
		令和2年度 (2020年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和7年度 (2025年度)
体力の向上 体力合計点(8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点)の平均値(全国体力・運動能力、運動習慣等調査)(1)	小5 男子	50.46点	49.39点	49.32点			53.61点以上
	女子	52.30点	50.75点	49.32点			55.59点以上
	中2 男子	38.98点	38.38点	39.39点			41.56点以上
	女子	48.22点	45.02点	45.46点			50.03点以上
		(R1市平均)					
運動・スポーツに対する意欲態度 「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して肯定的に回答した児童生徒の割合(全国体力・運動能力、運動習慣等調査)(1)	小5 男子	91.7%	89.7%	90.7%			93.3%以上
	女子	83.5%	80.7%	83.3%			87.6%以上
	中2 男子	88.1%	86.0%	89.3%			89.2%以上
	女子	77.2%	74.5%	74.2%			79.1%以上
		(R1市平均)					
規則正しい生活習慣の定着割合 「朝食を毎日食べていますか」に「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)(2)	小6	93.6%	91.1%	92.1%			94.9%以上
	中3	78.9%	89.6%	92.0%			92.8%以上
		(R3)					
連携による情報モラルの育成割合 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」に「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)(2)	小6	66.5%	67.1%	- (3)			70.1%以上
	中3	65.8%	67.3%	- (3)			67.9%以上
		(R3)					
中学校給食の実施		0校	0校	0校			全校(R8)

1 目標値は令和元年度の全国平均値です。

2 目標値は令和3年度の全国平均値です。

3 指標の項目が令和5年度全国学力・学習状況調査から除外されたため空欄。令和6年度は市独自で指標項目に類する調査を実施予定。

4 網掛けは目標値を達成している指標です。

取組の効果

- ・ 幼児期から体を動かすことの楽しさを体感できるよう、幼児教育・保育における指導を工夫するとともに、家庭と連携しながら、体を動かす遊びをより充実させることで、運動に親しむ習慣・環境づくりを進めることができた。
- ・ また、学校での保健教育の取組に加え、家庭と連携した食育を含めた健康教育を推進し、児童生徒が家庭において規則正しい生活リズムと、望ましい食習慣を実践できるよう取り組むことができた。
- ・ 情報モラルの育成には家庭との連携が必要であることから、タブレット端末に導入した情報モラル教材を、保護者にも子どもと一緒に取り組んでもらい、啓発している。
- ・ 国の補助金を活用し、学校給食費の物価高騰対策などを行いながら、学校運営に努めた。

今後の方向性・課題等

- ・ 児童生徒の運動することへの意欲や体力等が減少している。継続して運動ができるよう、適切な対策を講じながら、運動習慣の定着に向けた取組を進めていく必要がある。
- ・ 部活動の地域移行については、部活動地域移行検討委員会を設置し、地域と連携しつつ方向性を検討していく。

外部委員評価・意見等

ポストコロナとなったものの、感染症対策についてはインフルエンザなど他の感染症の流行も心配されることから、学校における健康管理、健康教育が一層重要になっていると思われる。またコロナ禍の間に取り組むことができなかった水泳など様々な制約によって運動能力を十分に育成できていないことが懸念される。運動することへの意欲や体力等が減少していると現状把握されている。運動習慣の定着だけでなく、体力向上、運動能力の向上のための取組が必要になってくると思う。

また情報モラルの育成については、昨年度も指摘したことだが、いじめの問題や人権教育にも関わる問題でもあることから、施策2とも運動させて取り組む必要があるであろう。施策3としては、家庭との連携が重要な視点となると思う。今後、どのように取り組んでいくのか、学校教育としてどのように取り組んでいくのか、検討が必要ではないだろうか。

施策3 の主な取組(事業)

事務事業名	アイススケートチャレンジ事業費	所管課	学校教育課
		決算額	2,518 千円
事業内容	府内唯一の通年型スケート場である「木下アカデミー京都アイスアリーナ」と連携して、市立小学校在籍児童を対象にアイススケート体験・見学会等を実施。多様な運動経験の機会を設けることで、生涯スポーツにつながる運動習慣の定着を図る。		
成果・実績	<p>通年型スケート場の利点を生かし、各校の年間行事に合わせて下記の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校第4学年に在籍する全児童を対象とした、約2時間のアイススケート体験。 ・スケート体験に併せた、事前の出前授業及びトップ選手の練習見学会。 <p>スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月～5月 : 各校実施日を施設と調整・決定 ・令和5年5月～令和6年3月 : 各校アイススケート体験、出前授業、見学会等 		
自己評価	体験実施後にも保護者とともにスケート場を訪れるケースがあり、体験を通して、アイススケートに興味・関心を持ち、アイススケートに親しむことで、生涯スポーツにつなぐ機会とすることができた。今後も、適切にスケート体験事業を進め、児童の多様な運動経験の創出に努める。		

事務事業名	部活動指導員設置費	所管課	学校教育課																								
		決算額	6,641 千円																								
事業内容	国ガイドラインの策定等を踏まえ、子ども達が様々なスポーツ及び文化に触れる事ができる充実した部活動環境の構築を目指すため、学校の働き方改革の一環として、休日部活動の持続に向けた部活動指導員を配置する。																										
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・休日の部活動を対象に部活動指導員を任用し、令和5年6月から順次配置。 ・各校1～4部を指定。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>運動部</th> <th>文化部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置校数</td> <td>15 校</td> <td>10 校</td> <td>5 校</td> </tr> <tr> <td>設置部活動数</td> <td>26 部</td> <td>21 部</td> <td>5 部</td> </tr> <tr> <td>部活動指導員数</td> <td>27 人</td> <td>22 人</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>活動時間</td> <td>3,416 時間</td> <td>2,897 時間</td> <td>519 時間</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部は10校全てに配置(1部活動に2人の場合あり) ・文化部は吹奏楽のみ 				合計					運動部	文化部	設置校数	15 校	10 校	5 校	設置部活動数	26 部	21 部	5 部	部活動指導員数	27 人	22 人	5 人	活動時間	3,416 時間	2,897 時間	519 時間
	合計																										
		運動部	文化部																								
設置校数	15 校	10 校	5 校																								
設置部活動数	26 部	21 部	5 部																								
部活動指導員数	27 人	22 人	5 人																								
活動時間	3,416 時間	2,897 時間	519 時間																								
自己評価	生徒は活動機会が確保されることに加え、部活動指導員による専門的な指導を受けることができ、専門的な技術を身に付けることができた。部活動指導員が教員の代わりとなって指導を行うことで、教員の時間外勤務の削減につながった。今後も、充実した部活動環境の構築を目指す。																										

事務事業名	幼稚園、小・中学校保健管理費	所管課	学校管理課														
		決算額	113,411 千円														
事業内容	学校保健及び学校安全に関し、法令に定める健康診断を実施し、環境衛生の確保に努めるとともに、学校管理下における事故災害に対する必要な給付を行い、園児、児童生徒の心身の健全な育成を図る。																
成果・実績	園児、児童生徒の健康診断及び各種検診・検査を実施した。																
	(単位:千円)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核予防対策費</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>小学校保健管理費</td> <td>69,235</td> </tr> <tr> <td>小学校心臓検診充実費</td> <td>5,273</td> </tr> <tr> <td>中学校保健管理費</td> <td>32,594</td> </tr> <tr> <td>中学校心臓検診充実費</td> <td>2,711</td> </tr> <tr> <td>幼稚園保健管理費</td> <td>3,569</td> </tr> </tbody> </table>	項目	金額	結核予防対策費	29	小学校保健管理費	69,235	小学校心臓検診充実費	5,273	中学校保健管理費	32,594	中学校心臓検診充実費	2,711	幼稚園保健管理費	3,569		
項目	金額																
結核予防対策費	29																
小学校保健管理費	69,235																
小学校心臓検診充実費	5,273																
中学校保健管理費	32,594																
中学校心臓検診充実費	2,711																
幼稚園保健管理費	3,569																
自己評価	法令に定める健康診断及び各種検診・検査を実施し、園児、児童生徒の心身の健全な育成を図った。今後も引き続き実施する。																

事務事業名	フッ化物洗口事業費	所管課	学校管理課					
		決算額	846 千円					
事業内容	児童の健全な発育のために、乳歯から永久歯へ生え変わる時期に小学校でフッ化物洗口を実施し、虫歯を予防する。							
成果・実績	児童の健全な発育のために、全校・全学年児童の希望者を対象に、虫歯予防効果の高いフッ化物洗口を実施した。							
	<table> <tr> <td>事業実施児童数</td> <td>3,417人</td> </tr> <tr> <td>事業実施率</td> <td>約39.9%</td> </tr> <tr> <td>平均実施回数</td> <td>29回</td> </tr> </table>	事業実施児童数	3,417人	事業実施率	約39.9%	平均実施回数	29回	
事業実施児童数	3,417人							
事業実施率	約39.9%							
平均実施回数	29回							
自己評価	乳歯から永久歯に生え変わる時期に、フッ素化合物による洗口を実施することで、児童の健全な発育を図るとともに、児童の健康に対する自己管理を推進した。京都府の動向を注視しつつ、効果的な実施手法について引き続き検討する必要がある。							

事務事業名	感染防止用資材等整備事業費	所管課	学校管理課
		決算額	19,259 千円
事業内容	小中学校における新型コロナウイルス感染症対策として、教室等において効果的に換気を実施することができるよう換気対策にかかる備品などの整備を行う。		
成果・実績	(単位:千円)		
	項目	校数	金額
	C 2モニター、サーキュレーター、空気清浄機等の消耗品及び備品の購入費用など		10,035
	網戸設置などにかかる委託費用		9,224
自己評価	国の補助金を活用し、各学校に予算配分を行う中で、学校長の意見を聞きながら物品購入等を行い、児童生徒及び教職員の感染症対策を実施した。		

事務事業名	給食・調理環境充実費(管理運営分)	所管課	学校管理課
		決算額	256,509 千円
事業内容	小学校給食運営の中で、宇治市調理職員が行っていた調理業務のみを学校単位で段階的に民間の給食専門会社に委託し、これまでの給食内容を変えることなく、運営経費の効率化を図り、それによって確保された財源で多様な子どもたちのニーズを踏まえた学校給食等の環境整備を行う。		
成果・実績	(単位:千円)		
	項目	校数	金額
	調理業務委託	14	222,011
	非常勤職員(学校栄養士)配置	10	29,933
	給食用食器・トレイ購入費(更新)など		4,565
自己評価	調理委託によって給食運営の効率化を図るとともに、食器の更新等、学校給食環境の整備を行い、成長期にある児童の健全な育成を推進した。今後も円滑な業務遂行に努める。		

事務事業名	学校給食費高騰対策事業費	所管課	学校管理課
		決算額	30,957 千円
事業内容	原油価格や食料品の価格が上昇している中でも、保護者の給食費負担額を変えることなく、これまで通りの学校給食が実施できるよう宇治市学校給食会に対して給食費の補助を行う。		
成果・実績	宇治市学校給食会からの実績報告に基づき、事業補助金を交付した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助対象期間 : 令和5年4月12日～令和6年3月18日 ・ 補助金額 : 30,957千円(給食1食あたり20円) 		
自己評価	本補助金を適用することで、食料品等の価格が上昇している中でも、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食を、保護者の負担を増やすことなく実施することができた。令和6年度も引き続き、保護者の負担を増やすことなく、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食を実施できるように、学校給食会に対して給食費の補助を行う。		

事務事業名	中学校昼食提供事業費	所管課	学校管理課																								
		決算額	6,564 千円																								
事業内容	中学校での昼食は生徒が弁当を持参することを基本としているが、家庭の事情等で持参できない場合に補完するため昼食の提供を行う。																										
成果・実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>平均利用率</th> <th>学校名</th> <th>平均利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治中学校</td> <td>0.8%</td> <td>南宇治中学校</td> <td>2.2%</td> </tr> <tr> <td>北宇治中学校</td> <td>0.6%</td> <td>広野中学校</td> <td>0.4%</td> </tr> <tr> <td>槇島中学校</td> <td>1.1%</td> <td>東宇治中学校</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校</td> <td>0.5%</td> <td>木幡中学校</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>西宇治中学校</td> <td>0.4%</td> <td>黄檗中学校</td> <td>1.0%</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	平均利用率	学校名	平均利用率	宇治中学校	0.8%	南宇治中学校	2.2%	北宇治中学校	0.6%	広野中学校	0.4%	槇島中学校	1.1%	東宇治中学校	0.2%	西小倉中学校	0.5%	木幡中学校	0.3%	西宇治中学校	0.4%	黄檗中学校	1.0%
学校名	平均利用率	学校名	平均利用率																								
宇治中学校	0.8%	南宇治中学校	2.2%																								
北宇治中学校	0.6%	広野中学校	0.4%																								
槇島中学校	1.1%	東宇治中学校	0.2%																								
西小倉中学校	0.5%	木幡中学校	0.3%																								
西宇治中学校	0.4%	黄檗中学校	1.0%																								
自己評価	弁当を持参できない生徒に栄養面を考慮した昼食を提供し、生徒の健全な発育を促進した。中学校給食の実施までの間、引き続き効率的な事業実施方法を引き続き検討する必要がある。																										

事務事業名	給食配膳室整備事業費	所管課	学校管理課
		決算額	42,738 千円
事業内容	心身の健全な発達のため、栄養バランスの取れた完全給食を中学校で実施するため、各校における給食配膳室を整備する。		
成果・実績	<p>中学校給食を給食センター方式で実施するため、各校に必要となる給食配膳室の設置について設計業務を進める。</p> <p>給食配膳室設置業務委託料等 42,738千円</p>		
自己評価	令和8年4月からの中学校給食開始に向けて、各校に必要となる給食配膳室の設計を完了し、配膳室工事の準備を整えることができた。		

事務事業名	給食センター整備事業費	所管課	学校管理課										
		決算額	42,768 千円										
事業内容	中学校給食の実施に向け、給食センターの用地確保に向けた調整をはじめ、設計・施工の一括発注であるデザインビルド方式による整備を進める。												
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校給食検討委員会の意見を踏まえ策定した「宇治市中学校給食基本構想」に基づき、給食センターの建設候補地となる用地の確保に向けて関係機関(法務省・財務省)との協議、調整を行った。 ・ また、デザインビルド方式による給食センター整備事業の発注、業者選定を行い、給食センター整備事業に着手した。 <p>(単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給食センター整備支援業務委託料</td> <td>21,835</td> </tr> <tr> <td>デザインビルド事業設計委託料(前払分)</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>不動産鑑定手数料</td> <td>725</td> </tr> <tr> <td>学校給食センター検討委員会委員報償費等</td> <td>208</td> </tr> </tbody> </table>			項目	金額	給食センター整備支援業務委託料	21,835	デザインビルド事業設計委託料(前払分)	20,000	不動産鑑定手数料	725	学校給食センター検討委員会委員報償費等	208
項目	金額												
給食センター整備支援業務委託料	21,835												
デザインビルド事業設計委託料(前払分)	20,000												
不動産鑑定手数料	725												
学校給食センター検討委員会委員報償費等	208												
自己評価	2月末に、国から建設候補地の処分等相手方としての決定を受け、工事着手までに用地取得の目途がたった。また、給食センターの実施設計に着手し、令和8年4月の給食提供開始に向けて事業を進めることができた。												

施策4 学びを促す学校内外の環境整備

推進施策

- (1)教育の機会均等の保障・充実
- (2)児童虐待防止への対応
- (3)教職員の指導力向上
- (4)支援体制の強化
- (5)学習環境の整備
- (6)安全管理・学校危機管理体制の充実
- (7)学校施設・設備の計画的な整備
- (8)学校規模・配置の適正化
- (9)教職員の働き方改革

		基準値	実績値				目標値
		令和2年度 (2020年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和7年度 (2025年度)
実践的な校内研修実施状況 「授業研究や事例研究など、 実践的な研修を行っています か」に「よくしている」「どちらか といえば、している」と回答した 割合(全国学力・学習状況調 査)	小学校	95.4%	86.4%	100.0%			98.10%
	中学校	90.0%	70.0%	80.0%			93.90%
		(R3)					
教員の校内外の研修・研究会 への参加と活用状況 「教職員は、校内外の研修や 研究会に参加し、その成果を 教育活動に積極的に反映させ ていますか」に「よくしている」 「どちらかといえば、している」と 回答した割合(全国学力・学習 状況調査)(1)(2)	小学校	72.7%	68.1%	86.4%			84.60%
	中学校	50.0%	70.0%	50.0%			84.50%
		(R3)					
授業中にICTを活用して指導 する能力がある教員の割合 (学校における教育の情報化 の実態等に関する調査)(3)		53.1%	71.7%	69.5%			70.2%
長寿命化改修(屋上改修・外 壁補修等)の進捗率		0校	0校 (着手2校)	2校			3校
屋内運動場及び武道場の非 構造部材耐震改修工事の進 捗率		34.1%	53.7%	75.6%			100%

1 目標値は令和3年度の全国平均値です。

2 全国学力・学習状況調査の項目が変更されたため、実績値は「校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか」に対して、「よくしている」、「どちらかというとしている」と回答した割合を参考提示している。

3 目標値は令和2年度の全国平均値です。

4 網掛けは目標値を達成している指標です。

取組の効果

- ・ 教室に設置している大型提示装置を更新するに際し、無線で一人一台端末の画面を大型提示装置に映し出せるようにし、ICTをシームレスに活用できる環境を整備した。
- ・ ICTを効果的に活用するために、各校で蓄積した実践事例を市内各校と共有し、授業での日常的な活用に取り組んだ。また、ICT授業アドバイザーによる授業支援や研修を行うなど、教員のスキルアップに取り組んだ。
- ・ 施設整備では、市内にある小中学校全ての屋内運動場の非構造部材の耐震改修工事が完了した。

今後の方向性・課題等

- ・ 教員のICT活用指導力向上のために、文部科学省の教員のICT活用指導力に関する調査を活用して、調査結果を自己分析できる仕組みを作り、個々の教員のニーズに応じた研修を受講できるようにする必要がある。
- ・ 併せて、ICT活用に対する専門知識を有するアドバイザー配置など支援体制を継続する必要がある。
- ・ 現在は集合研修が再開されているが、コロナ禍において研修実施が困難であった状況を踏まえ、前もって研修の目的や意義などを伝えることにより研修がより有意義なものとなるように努める必要がある。

外部委員評価・意見等

施策4は学びを促す学校内外の環境整備であり、多岐にわたる推進施策が位置づけられるものである。様々な支援策を講じることで、教育の機会均等を保証し、充実させることが目指されていると理解できる。そのため、他の施策での推進施策とも関わりが深いものも多い。この施策においても、福祉部局との連携が必要なものもあり、教育行政の役割の広がりを見ることができると思う。

学習環境の整備には、教職員の質の向上、研究が重要であり、その意味で研修講座の開催や教育研究員による研究の取組が注目される。コロナ禍においては研修の実施にも制約があり、難しかったと推察されるが、令和5年度においては研修講座が多く開催され、充実していたように思われる。ただ気になるのは、教員の校内外の研修・研究会への参加と活用状況の指標を見ると、小学校では目標を上回っているのに対して、中学校では、令和4年度よりも低下し、かなり低調になっている点である。働き方改革の問題でもあるかもしれないが、中学校での研修の取組については点検評価し、方策を検討する必要があるのではないかと。

また教育研究費による教育研究員の研究については、幼小接続研究部の研究が、部員数も7名と多く、「架け橋期のカリキュラム」の開発に取り組まれるなど、宇治市乳幼児教育・保育推進協議会での協議との連動して、重要な研究がなされていたのではないかとと思われる。

ICTの活用に関しては、環境の整備やアドバイザーによる支援など力を入れて取り組んでいることがわかる。その成果が表れることを期待したい。

施策4については、教育振興基本計画では多くの推進施策が位置づけられているが、点検評価で記載されている項目はかなり少ないという印象がある。他の施策において評価されているものもあると思われるが、施策4としてまとめられていることに意味があるはずであり、もう少し点検評価の結果を示していただきたいと思う。特に教職員の働き方改革について、どのような取組をされ、どのような成果、課題があるのか、気にかかるところである。

施策4 の主な取組(事業)

事務事業名	小・中学校就学援助費	所管課	学校教育課
		決算額	105,283 千円
事業内容	義務教育を受ける機会を均等に保障するため、経済的な理由で就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学校に必要な学用品費、給食費、校外活動費、医療費などの援助を行う。		
成果・実績	(単位:千円)		
	項目	金額	
	小学校就学援助費	70,954	
	中学校就学援助費	34,329	
自己評価	就学援助費の支給を適正に執行し、児童生徒の教育機会の確保を図った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努める。		

事務事業名	講座等開催費	所管課	学校教育課
		決算額	160 千円
事業内容	学校教育に係る体系的な教職員研修と校内研修の実施を促し、教職員の資質向上と学校教育の充実・発展を図る。		
成果・実績		職務及び教職経験年数別研修	専門研究研修
	開催講座	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理職研修講座 ・ 初任者研修講座 ・ 人権教育研修講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上研究研修講座 ・ 学校図書館活用研修講座 ・ 特別支援教育研修講座 ・ 保幼小研修講座 ・ ICT活用研修講座 など
	開催数	4回(実施予定4講座)	9回(実施予定8講座)
	受講者数	108人	331人
自己評価	社会が変化する中、今後も本市が重点とする目標の達成に向け、また、求められる教員の資質能力の向上となるよう、内容を充実させて実施する。		

事務事業名	小・中学校ICT教育充実事業費	所管課	学校教育課
		決算額	177,321 千円
事業内容	小中学校のICT環境を整備し教育環境の充実を図るとともに、効果的に活用することにより学習活動の充実や学習意欲の向上を目指す。		
成果・実績	<p>小中学校の各教室に設置している大型提示装置を更新し、画面サイズを大型化するとともに、無線で一人一台端末の画面を転送して提示できるよう機能向上を図った。また、フィルタリングソフトの活用や、授業においてインターネット上で著作物を扱う際の著作権法に基づく補償金の支払など、ICT利活用推進のための環境整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大型提示装置(65型モニター)の更新 652台、32校 		
自己評価	大型提示装置を更新するとともに、機能や利便性の向上を図り、ICT利活用推進のための環境整備を実施した。今後も各校の活用状況や国の動向も注視しながら、環境整備に努めるとともに、ICTの効果的な活用により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けた指導を進める。		

事務事業名	ICT授業アドバイザー設置費	所管課	学校教育課
		決算額	19,008 千円
事業内容	ICT利活用に専門的知識や先進事例を有するICT授業アドバイザーを配置し、授業で効果的にICTを活用することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、子ども主体の学びを実現する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で効果的にICTを活用し授業改善が進むよう、ICT授業アドバイザーが各校を月2回訪問し、授業支援や研修支援を行った。 ・ 授業でのICTの使いどころの提案や教科書に合わせた活用事例の紹介を行うことで、授業での効果的なICT活用につながる環境づくりを実施した。 ・ 毎月、市教委や学校のICT担当教員との担当者会議にも出席し、活用事例の紹介や課題を共有し、ICT活用を底上げした。 		
自己評価	ICT授業アドバイザーの授業支援により、授業や家庭学習の様々な場面で日常的なICT活用が進んでいる一方、学校間・教員間の活用状況に差が生じている。引き続き、ICTを効果的に活用し、授業改善に取り組むとともに、ICT授業アドバイザーの活用や研修の充実など教員のスキルアップ向上に取り組む。		

事務事業名	小・中学校教員用教科書・指導書購入費	所管課	学校教育課
		決算額	3,047 千円
事業内容	小中学校で使用する教員用の教科書・指導書を整備し、学習指導の充実を図る。		
成果・実績	・学級数や担当教員数に応じて教科書・指導書を整備し、学習指導の充実や教材研究の充実を図った。		
自己評価	すべての小中学校で必要とする教科書・指導書を整備した。引き続き、児童生徒の学習内容の理解を深めたり、興味関心を高めるため、教科書改訂の時期も考慮しながら、指導者用デジタル教科書の導入を検討し、学習指導の充実に努める。		

事務事業名	教育研究費	所管課	学校教育課															
		決算額	838 千円															
事業内容	本市の学校教育において必要となる教育諸課題の解決と一層の教育内容の充実・振興に対応するため、教育研究員による実践研究を実施し、その成果を小中学校に還元する。																	
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・計画した4つの教育研究員部会を実施した。 ・また、成果を教職員研修講座の開催、研究冊子などにより報告する等、周知を図った。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>部会名</th> <th>部員数</th> <th>主な研究内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学力向上研究部</td> <td>7</td> <td>家庭学習を生かした授業改善 学習用タブレット端末を活用した授業改善</td> </tr> <tr> <td>学校図書館研究部</td> <td>4</td> <td>学校図書館の3つの機能を生かした読解力の向上</td> </tr> <tr> <td>ICT教育研究部</td> <td>6</td> <td>各種ツールの使用技能取得や活用例の紹介</td> </tr> <tr> <td>幼小接続研究部</td> <td>7</td> <td>学びに向かう力をはぐくむ保育改善とその力を生かすための授業改善を通じた「架け橋期のカリキュラム」の開発</td> </tr> </tbody> </table>			部会名	部員数	主な研究内容	学力向上研究部	7	家庭学習を生かした授業改善 学習用タブレット端末を活用した授業改善	学校図書館研究部	4	学校図書館の3つの機能を生かした読解力の向上	ICT教育研究部	6	各種ツールの使用技能取得や活用例の紹介	幼小接続研究部	7	学びに向かう力をはぐくむ保育改善とその力を生かすための授業改善を通じた「架け橋期のカリキュラム」の開発
部会名	部員数	主な研究内容																
学力向上研究部	7	家庭学習を生かした授業改善 学習用タブレット端末を活用した授業改善																
学校図書館研究部	4	学校図書館の3つの機能を生かした読解力の向上																
ICT教育研究部	6	各種ツールの使用技能取得や活用例の紹介																
幼小接続研究部	7	学びに向かう力をはぐくむ保育改善とその力を生かすための授業改善を通じた「架け橋期のカリキュラム」の開発																
自己評価	教育研究員が各々創意工夫し、教育実践に基づき研究を行い、本市の学校教育における課題解決を図った。研究成果を学校現場にフィードバックするため、報告会等を開催し、本市における教育力の向上につなげられるよう取り組んだ。今後も、本市の教育課題に対応するべく部会の設定を行い、教育力の向上に努める。																	

事務事業名	小・中学校教材充実費【再掲】	所管課	学校教育課						
		決算額	47,815 千円						
事業内容	各教科の授業等で必要な教材について、学校間の格差が生じないように配慮しながら、教材等の充実を図り、教育環境の充実を図る。								
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の一般教材備品、理科教育振興備品などの充実を図り、教育環境の整備に努めた。 <p style="text-align: center;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校教材充実費</td> <td>31,651</td> </tr> <tr> <td>中学校教材充実費</td> <td>16,164</td> </tr> </tbody> </table>			項目	金額	小学校教材充実費	31,651	中学校教材充実費	16,164
項目	金額								
小学校教材充実費	31,651								
中学校教材充実費	16,164								
自己評価	教材を適正に購入し、児童生徒の教育環境の整備・充実を図った。ICT教育に係る教材の充実を含め、引き続き教育環境の整備・充実に努める。								

事務事業名	へき地校通学対策費	所管課	学校管理課・学校教育課									
		決算額	18,896 千円									
事業内容	へき地における特殊な教育条件を考慮し、教育水準の維持・向上を図り、児童生徒の通学の負担を軽減するために、笠取地区内及び笠取地区と市街地を結ぶ通学用輸送車を運行する。											
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> 笠取地区スクールバス3台及び給食配送車の運行・維持管理を行った。 (笠取小学校特認校児童等の送迎を含む) 											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位:千円)</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特認入学パンフレット印刷費</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等維持管理費</td> <td>492</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等運行委託料</td> <td>18,333</td> </tr> </tbody> </table>		(単位:千円)		項目	金額	特認入学パンフレット印刷費	71	笠取地区通学バス等維持管理費	492	笠取地区通学バス等運行委託料	18,333
(単位:千円)												
項目	金額											
特認入学パンフレット印刷費	71											
笠取地区通学バス等維持管理費	492											
笠取地区通学バス等運行委託料	18,333											
自己評価	スクールバス及び給食配送車を運行し、へき地における教育水準の維持・向上を図った。山間部の通学と特認校制度の運用に必要となっているが、車両の有効活用のため、利用状況等を把握し、その他の活用方法についても検討する必要がある。											

事務事業名	小・中学校、幼稚園維持整備事業	所管課	学校管理課																									
		決算額	607,191 千円																									
事業内容	学校教育環境の充実と安全性確保のため、幼稚園、小中学校の施設・設備について、老朽化対応修繕、緊急修繕、及び法令等に適合させる修繕を行う。また、老朽化や損耗が著しい施設・設備について計画的に改修を実施するとともに、体育館非構造部材の耐震改修及びプール施設の改築など大規模改造事業を実施する。																											
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> 良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図った。 																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">(単位:千円)</th> </tr> <tr> <th>事業名</th> <th>主な内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校維持修繕費</td> <td>各小学校施設の小修理</td> <td>74,926</td> </tr> <tr> <td>小学校施設整備費</td> <td>各小学校施設的环境整備</td> <td>21,455</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小学校大規模改造事業費</td> <td>体育館非構造部材耐震改修工事 (大開小学校、平盛小学校、 菟道小学校、三室戸小学校、 伊勢田小学校、大久保小学校、 笠取小学校、笠取第二小学校)</td> <td>329,665</td> </tr> <tr> <td>小倉小学校プール施設改築工事</td> <td>135,196</td> </tr> <tr> <td>中学校維持修繕費</td> <td>各中学校施設の小修理</td> <td>34,119</td> </tr> <tr> <td>中学校施設整備費</td> <td>各中学校施設的环境整備</td> <td>9,562</td> </tr> <tr> <td>幼稚園維持修繕費</td> <td>各幼稚園施設の小修理</td> <td>2,268</td> </tr> </tbody> </table>		(単位:千円)			事業名	主な内容	事業費	小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理	74,926	小学校施設整備費	各小学校施設的环境整備	21,455	小学校大規模改造事業費	体育館非構造部材耐震改修工事 (大開小学校、平盛小学校、 菟道小学校、三室戸小学校、 伊勢田小学校、大久保小学校、 笠取小学校、笠取第二小学校)	329,665	小倉小学校プール施設改築工事	135,196	中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理	34,119	中学校施設整備費	各中学校施設的环境整備	9,562	幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理	2,268
(単位:千円)																												
事業名	主な内容	事業費																										
小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理	74,926																										
小学校施設整備費	各小学校施設的环境整備	21,455																										
小学校大規模改造事業費	体育館非構造部材耐震改修工事 (大開小学校、平盛小学校、 菟道小学校、三室戸小学校、 伊勢田小学校、大久保小学校、 笠取小学校、笠取第二小学校)	329,665																										
	小倉小学校プール施設改築工事	135,196																										
中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理	34,119																										
中学校施設整備費	各中学校施設的环境整備	9,562																										
幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理	2,268																										
自己評価	教育施設の老朽化等に対応し、計画的に改修工事等を実施した。今後も計画的に施設の維持・保全に努め、園児、児童生徒が安全で安心して授業に臨むことができるよう、教育環境の整備を図る。																											

事務事業名	学校照明LED化事業費	所管課	学校管理課																			
		決算額	81,491 千円																			
事業内容	児童生徒の学習環境の維持向上及び学校施設の脱炭素化を進めるため、照明のLED化を実施する																					
成果・実績	小学校・中学校の照明設備について、LED照明器具への更新を実施した。																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位:千円)</th> <th colspan="2">(単位:千円)</th> </tr> <tr> <th>小学校</th> <th>事業費</th> <th>中学校</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>菟道小学校</td> <td rowspan="5">44,280</td> <td>宇治中学校</td> <td rowspan="4">37,211</td> </tr> <tr> <td>神明小学校</td> <td>広野中学校</td> </tr> <tr> <td>槇島小学校</td> <td>南宇治中学校</td> </tr> <tr> <td>北槇島小学校</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岡屋小学校</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		(単位:千円)		(単位:千円)		小学校	事業費	中学校	事業費	菟道小学校	44,280	宇治中学校	37,211	神明小学校	広野中学校	槇島小学校	南宇治中学校	北槇島小学校		岡屋小学校	
(単位:千円)		(単位:千円)																				
小学校	事業費	中学校	事業費																			
菟道小学校	44,280	宇治中学校	37,211																			
神明小学校		広野中学校																				
槇島小学校		南宇治中学校																				
北槇島小学校																						
岡屋小学校																						
自己評価	照明器具のLED化により学校環境の向上を実現できた。 今後も引き続き電力使用量の実績を確認しながら温室効果ガス排出量削減効果の検証を行う。																					

事務事業名	学校長寿命化事業費	所管課	学校管理課																					
		決算額	307,304 千円																					
事業内容	児童生徒の安全を確保し、円滑な学習を進めるため、学校施設長寿命化計画に基づく長寿命化改修を進める																							
成果・実績	西宇治中学校及び東宇治中学校の改修工事等を実施した。																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">(単位:千円)</th> </tr> <tr> <th>実施内容</th> <th>実施校</th> <th>事業費</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">長寿命化改修設計</td> <td>東宇治中学校</td> <td>13,640</td> <td>旧館棟の解体</td> </tr> <tr> <td>菟道小学校</td> <td>2,970</td> <td>屋内運動場</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">長寿命化改修工事</td> <td>その1 西宇治中学校</td> <td>56,661</td> <td>屋内運動場、武道場</td> </tr> <tr> <td>その1 東宇治中学校</td> <td>234,033</td> <td>本館棟西側</td> </tr> </tbody> </table>			(単位:千円)				実施内容	実施校	事業費	備考	長寿命化改修設計	東宇治中学校	13,640	旧館棟の解体	菟道小学校	2,970	屋内運動場	長寿命化改修工事	その1 西宇治中学校	56,661	屋内運動場、武道場	その1 東宇治中学校	234,033
(単位:千円)																								
実施内容	実施校	事業費	備考																					
長寿命化改修設計	東宇治中学校	13,640	旧館棟の解体																					
	菟道小学校	2,970	屋内運動場																					
長寿命化改修工事	その1 西宇治中学校	56,661	屋内運動場、武道場																					
	その1 東宇治中学校	234,033	本館棟西側																					
自己評価	長寿命化改修工事として屋上防水及び外壁改修等の工事を行い、より長期的に施設の機能を維持できるようになった。 また、内装のリニューアル工事を行い、改修実施校の教育環境を向上させた。																							

施策5 家庭・学校・地域の連携・協働促進

推進施策

- (1) コミュニティ・スクールの推進
- (2) 家庭の教育力の向上・子育て支援の推進
- (3) 適切な情報発信の推進
- (4) 青少年の健全育成
- (5) 子どもの読書活動の推進

		基準値	実績値				目標値
		令和2年度 (2020年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和7年度 (2025年度)
地域行事への参加度の割合 地域の行事に参加するかの項目で「している」「どちらかといえば、している」と回答した児童生徒数の割合(全国学力・学習状況調査)(1)	小6	57.1%	50.4%	51.0%			58.1%
	中3	36.5%	31.8%	29.8%			43.7%
		(R3)					
地域学校協働活動(放課後子ども教室を含む)取組事業数		3事業	31事業	137事業			155事業
青少年センターの利用者数		21,987人	31,657人	34,808人			23,100人
読書をしない児童生徒の割合 あなたは本をよく読みますかの項目で「ほとんど読まない」と回答した児童生徒の割合(意識・実態調査)(2)	小6	27.6%	31.9%	31.3%			20.0%
	中2・中3	35.4%	43.1%	41.6%			25.0%

1 目標値は令和3年度の全国平均値です。

2 中学生の調査対象は、基準値算出時の意識・実態調査では2年生、実績値の全国学力・学習状況調査では3年生となっている。また、基準値算出時の意識・実態調査では「よく読む」「読みたいがあまり読めない」「ほとんど読まない」の3パターンからの選択で回答を求めたが、全国学力・学習状況調査は単純に1日あたりの読書時間を回答する設問となっているため、理由の如何に関わらず読書を「全くしない」と回答した児童生徒の割合を参考提示している。

3 網掛けは目標値を達成している指標です。

取組の効果

- ・ 市教委や学校が進めている様々な取組や子どもたちの活躍の状況、子どもの内面理解や親のための子育て応援コラムなど、本市の教育行政並びに幼稚園・学校教育などに係る情報を記載した教育だよりを学期ごとに発行し、啓発に努めた。
- ・ 宇治市立小中学校において、学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に進めるコミュニティ・スクールの推進に努め、各種取組の展開に寄与することができた。
- ・ 河原青少年センターでは、子どもだけでなく、保護者や地域の人々と創り上げていく取組を増やしたことや、新規の企画事業を開始したことが、結果的に来館者の増加に寄与した。
- ・ 子どもの読書活動推進計画の第三次推進計画に基づき、引き続き子どもが読書に親しみ、生涯にわたる読書週間を身に付けることができるよう、「宇治市子どもの読書活動推進委員会」に参加の各課が協働して事業を展開するとともに、公共施設の絵本コーナー整備の一環として、総合野外活動センターの絵本コーナーに京都府内産木材備品(絵本棚やベンチ等)を設置し、環境の充実に努めた。

今後の方向性・課題等

- ・新しい教育課題や、ポストコロナの学校教育活動等について、保護者や市民に教育施策とその成果を周知し、理解・安心感を得ることが重要である。
- ・保護者や市民からの関心の高い内容を検討し、SNS・ホームページ等も活用するなど広報を充実していく必要がある。
- ・預かり保育や子育て支援施設等利用給付費補助金などの子育て支援策の推進については、ニーズのある保護者への事業の周知と、事業内容が保護者・児童の求めるものとなっているかの検証が必要である。
- ・今後もコミュニティ・スクールを推進していくために、CSコーディネーターや統括コーディネーターを中心として、各校との連携・協力・支援を継続していく必要がある。
- ・青少年センターに来館する子どもに日常遊び・各種教室や館外事業などの体験を通じて、子どもの成長を支援する施設として、今後も様々な取組を企画・運営していく。
- ・子どもの読書活動を推進できるよう、既存資源を有効活用するとともに、既存事業の中で子どもの読書活動に結びつけられるものがないか検討するなど、引き続き関係各課で創意工夫を図っていく。

外部委員評価・意見等

施策5は、家庭・学校・地域の連携・協働促進であり、保護者や地域の方々に学校教育をはじめ教育委員会の取組について理解を深めてもらい、協力関係を強めていくことが目指される施策になる。

保護者や地域住民の理解を得るためには、教育だよりの発行は重要であり、工夫しながら取り組んでいることが伝わってくる。小中一貫教育についてはかなり浸透してきていると思われるが、就学前教育について新たな体制を構築しようとしているし、コミュニティ・スクールへの理解についてはこれからだと思われるので、情報発信については力を入れて行っていただきたい。コミュニティ・スクールの仕組みは、保護者や地域住民の参画のシステムでもあり、その運営により一層の理解を得ることも可能になると思う。

コミュニティ・スクールについては、小中一貫教育の推進にも重要な仕組みになっていくものと思う。現在は、各小中学校での取組になっていると思うが、小中一貫教育が深化していけば、各ブロック単位でコミュニティ・スクールの運営も必要になってくるのではないかと。あるいは中学校でのコミュニティ・スクールは、小中一貫教育を前提に運営していくことも考えられると思う。今後の検討課題にさせていただければと思う。

青少年センターの利用者は、目標を大幅に上回り充実していると思う。各センターで工夫を重ねられ、さらに充実していかれるものと思う。

読書活動については、対策を講じてもらいたいと思う。推進委員会を設置して、組織的に取り組んでおられるようで、その成果を期待したい。読書は、生活を豊かにするものであるはずであり、様々な機会にその経験を重ねていくことが必要だと思う。学校教育の課題としてしまうと勉強になってしまうので、そうではない豊かな読書経験を大人も子どももできるように取り組むことが必要だと思う。

施策5 の主な取組(事業)

事務事業名	地域学校協働活動推進費	所管課	教育支援課
		決算額	10,971 千円
事業内容	保護者及び幅広い地域住民などが学校運営へ参画する「学校運営協議会」と、社会全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を一体的に推進するコミュニティ・スクールにより、「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」を目指す。		
成果・実績	<p>コミュニティ・スクール(学校運営協議会と地域学校協働活動)の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域学校協働本部委託料(1校当たり5万円)の申請数 16校 ・ CSコーディネーター連絡会の実施 令和5年4月26日、9月19日、令和6年2月8日(計3回) ・ 学校運営協議会委員研修会を実施 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進に係る研修会 6月7日 : 地域対象(72人参加) 6月20日 : 教職員対象(30人参加) 		
自己評価	宇治市立全小中学校において、コミュニティ・スクール(学校運営協議会と地域学校協働活動)を推進しており、今後も各校との連携・協力・支援の継続が必要である。		

事務事業名	少年補導活動費	所管課	教育支援課
		決算額	5,326 千円
事業内容	少年補導委員を中心に、街頭補導活動、社会環境浄化活動、市民啓発活動などを実施し、地域での青少年非行の未然防止に努め、青少年の健全育成を図る。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポストコロナ時代の中、これまで中止していた県祭りの街頭補導及び地域懇談会を実施することができた。 ・ 社会環境浄化活動、ブロック補導、年末の一斉補導活動、年始補導出発式も計画通り実施できた。 ・ 7月に「青少年の非行被害防止全国強調月間」の啓発パネル展、10月には講師を招いた研修会を開催した。 ・ 各校区の少年補導委員ができる範囲でパトロールを実施した。 		
自己評価	徐々に事業や取組が再開される中で、各委員ができる範囲でパトロールをはじめとする活動を実施し、青少年の非行の未然防止に取り組むことができた。今後とも、各種団体との協力を図りながら、引き続き青少年の健全育成に努める。		

事務事業名	中学生の主張大会開催費	所管課	教育支援課
		決算額	313 千円
事業内容	宇治市教育委員会・宇治市青少年健全育成協議会・宇治市連合育友会の共催により、中学生、保護者、市民などが参加し、各中学校の代表生徒が主張を発表して互いに考え学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生への理解と認識を深め、青少年の健全育成を推進する。		
成果・実績	中学生が考え、悩み、求めていることを自己の主張として発表することにより、市民の青少年に対する理解と認識を深めるため、第42回宇治市「中学生の主張」大会を開催した。また、会場では宇治支援学校の取組の紹介及び中学部生徒の作品展示を行った。開催後、市長との懇談会の実施や大会のまとめ冊子を作成し、学校関係者やその他の施設に配布した。		
自己評価	中学生が学校、家庭、地域生活の中で感じたことを発表することで、同世代の青少年の学び合いと、市民の中学生に対する理解と認識の促進を図った。本年度は入場制限をなくし、文化センター小ホールで開催した。今後も社会状況に応じて開催する。		

事務事業名	青少年健全育成推進費	所管課	教育支援課
		決算額	1,693 千円
事業内容	青少年の健全育成及び社会環境づくりの推進を図るため、社会参加等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年育成に係る啓発活動を行う。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、次世代の地域活動を担う人材を育成するために実施しているジュニアリーダー宿泊研修会、ジュニアリーダー養成(ふる里)学習会をコロナ禍以前の形式で実施できた。 ・「宇治市青少年健全育成推進大会」は、生涯学習センター第1ホールで集会形式で実施することができた。 ・市内の青少年健全育成を目的に組織されている宇治市青少年健全育成協議会の活動に対して支援を行った。 青少年健全育成協議会補助金 1,260千円 		
自己評価	当協議会の大きな事業の一つである、ジュニアリーダー養成(ふる里)学習会をはじめ、ジュニアリーダー研修会、青少年健全育成推進大会などはほぼ従来通り実施でき、地域の取組は徐々に事業を再開することができた。今後もコミュニティ・スクールを推進していく中で、各種関係団体と連携を深めつつ、青少年の健全育成に向けて各種事業の実施に努める。		

事務事業名	放課後子ども教室支援事業費	所管課	教育支援課																
		決算額	2,071 千円																
事業内容	平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域住民等で構成される推進組織の運営により、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習及びスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行う。また、地域の方の協力を得ることによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進める。																		
成果・実績	遊びと学びの場を提供する地域活動に対して、教育活動推進員及び教育活動サポーターの派遣を行い、子どもの放課後の居場所を確保した。																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>取組の名称</th> <th>開催場所</th> <th>開催日数</th> <th>参加者数 (延べ人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放課後学習会&北楨っ子くらぶ</td> <td>北楨島小学校</td> <td>22日</td> <td>540人</td> </tr> <tr> <td>笠二っ子クラブ</td> <td>笠取第二小学校</td> <td>192日</td> <td>1,524人</td> </tr> <tr> <td>まなび(宿題)教室</td> <td>平盛小学校</td> <td>156日</td> <td>1,959人</td> </tr> </tbody> </table>				取組の名称	開催場所	開催日数	参加者数 (延べ人数)	放課後学習会&北楨っ子くらぶ	北楨島小学校	22日	540人	笠二っ子クラブ	笠取第二小学校	192日	1,524人	まなび(宿題)教室	平盛小学校	156日
取組の名称	開催場所	開催日数	参加者数 (延べ人数)																
放課後学習会&北楨っ子くらぶ	北楨島小学校	22日	540人																
笠二っ子クラブ	笠取第二小学校	192日	1,524人																
まなび(宿題)教室	平盛小学校	156日	1,959人																
自己評価	地域住民等で構成される推進組織の運営により、放課後等の学校において児童の遊びと学びの場を提供した。地域学校協働活動を推進していく中で、引き続き国の動向等を踏まえ、子どもの健全育成に向けた環境づくりを推進する。																		

事務事業名	善法青少年センター活動費	所管課	善法青少年センター	
		決算額	2,146 千円	
事業内容	人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。			
成果・実績	<p>学習・文化活動 書道教室、えいごくらぶ、手作り教室、園芸教室、折り紙教室などを実施した。</p> <p>・実施回数 285回 ・参加者数 3,501人</p> <p>体育・スポーツ・レクリエーション活動 ダンス教室、スポーツクラブ、お楽しみ会などを実施した。</p> <p>・実施回数 30回 ・参加者数 479人</p>			
	自己評価	各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も事業参加を促すため、子どもたちのニーズを把握し、引き続き事業内容の工夫に努める。		

事務事業名	河原青少年センター活動費	所管課	河原青少年センター
		決算額	1,084 千円
事業内容	人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。		
成果・実績	<p>学習・文化活動 体験学習、英語教室、お茶教室、工作教室などを実施した。</p> <p>・実施回数 108回 ・参加者数 1,225人</p> <p>体育・スポーツ・レクリエーション活動 カメレオン・パニック、ダンス教室、アウトドア教室などを実施した。</p> <p>・実施回数 18回 ・参加者数 790人</p>		
自己評価	各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も、新規事業の取組や事業内容を工夫するなどして、参加者の増加と事業の発展に努める。		

事務事業名	大久保青少年センター活動費	所管課	教育支援課									
		決算額	1,679 千円									
事業内容	青少年の「生きる力」を育み、豊かな人間性及び協調性を養うことを目的に、文化・芸術・スポーツなどの活動事業を実施する。また、各種教室・催し物の開催及びこどもクラブでの活動の育成指導を行う。											
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの参加意識は高く、目的をもつてのびのびと主体的に活動する場面が多く見られた。 また、学校・学年・地域を越えて友達関係の輪を広げることができた。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>取組の名称</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数 (延べ人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教室・各種事業</td> <td>28回</td> <td>1,071人</td> </tr> <tr> <td>こどもクラブ</td> <td>126回</td> <td>1,511人</td> </tr> </tbody> </table>			取組の名称	実施回数	参加者数 (延べ人数)	教室・各種事業	28回	1,071人	こどもクラブ	126回	1,511人
取組の名称	実施回数	参加者数 (延べ人数)										
教室・各種事業	28回	1,071人										
こどもクラブ	126回	1,511人										
自己評価	各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も事業参加を促すため、子どもたちのニーズを把握し、引き続き事業内容の工夫に努める。											

事務事業名	子育て支援施設等利用給付費補助金	所管課	学校教育課
		決算額	433,716 千円
事業内容	幼児教育保育の無償化を実現するため、各種給付を行う。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料の無償化 本市に居住する満3～5歳の幼稚園就園児の保育料を無償化するため、私立幼稚園等に保育料相当分として給付した。 上限25,700円/月 ・ 預かり保育料の給付 本市が保育の必要性があると認定した幼稚園就学園児の保護者に対して、公立及び私立幼稚園の預かり保育料を給付する。 3歳児以上: 上限11,300円/月 市民税非課税世帯の満3歳児: 上限16,300円/月 ・ 副食材料費の補助 年収約360万円未満相当世帯や小学校3年生以下の第3子以降の子どもの副食材料費を補助する。 		
	(単位: 千円)		
	内訳	事業費	
	子育て支援施設等利用給付費補助金	433,716	
	保育料・入園費分	413,681	
	預かり保育事業利用料	13,056	
	副食材料費補助	6,979	
自己評価	幼児教育保育の無償化にかかる事務を適正に執行した。引き続き、保育を必要とする保護者に対して預かり保育事業の利用料の給付、低所得世帯や多子世帯に対して副食材料費の補助を適正に行い、保護者の経済的負担の軽減を図る。		

施策6 市民が学び合う生涯学習社会の進展

推進施策

- (1)生涯学習情報の的確な提供
- (2)生涯学習講座の充実
- (3)市民・地域活動への支援
- (4)生涯学習施設の機能拡充
- (5)質の高い生涯学習環境の推進
- (6)図書館サービスの充実

	基準値	実績値				目標値
		令和2年度 (2020年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
生涯学習講座の参加者数	11,252人 (R1)	8,943人	10,441人			12,000人
人材バンク活用件数	43件 (R1)	37件	27件			65件
総合野外活動センターの来場者数	96,965人 (R1)	77,849人	90,091人			103,300人
蔵書更新率	5.2%	6.8%	5.5%			5.5%
図書館の利用しやすさ「満足」の回答割合(利用者アンケート)	53.2% (R3)	次回アンケートは令和7年度実施予定				55.0%

1 網掛けは目標値を達成している指標です。

取組の効果

- ・生涯学習の分野では、引き続き情報格差の解消を図るため、情報リテラシーやデジタルスキルの向上に資する講座を開催した。また、新たにオンライン受講できる講座も開催し、学習方法や時間、場所の制約を少しでも緩和できるよう努めた。
- ・図書館では毎年、内容が古くなり学習等に使いにくくなったもの、汚損等により提供できなくなったものを中心に除籍作業を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大前より来館者が少なかった令和4年度は、例年以上の除籍作業を行った。そのため、新規受入数と除籍数を足して蔵書数で割った値である蔵書更新率はかなり上昇したが、令和5年度については、例年と同程度の除籍数となったため、昨年度より低下したものの目標値は達成した。
- ・令和4年度7月から開始した電子図書館学校連携事業では、学校や家庭等でいつでも電子図書が読める環境を整えることで読書意欲を喚起するとともに、読書活動や学習活動を推進することを目的としており、令和5年度も同様に宇治市立学校に在籍する新小学校3年生及び新中学校1年生へ電子図書館の学校連携専用IDカードを配布し、電子図書館サービスの利用を促進した。
- ・総合野外活動センターについては、キャッシュレス決済サービスの範囲拡大により利用者の利便性を高めるとともに、高まる野外活動のニーズに応えるためオートキャンプ企画を試行するなど、施設利用の促進に努めた。

今後の方向性・課題等

- ・生涯学習講座の参加者数・人材バンク活用件数・総合野外活動センターの来場者数については、コロナ禍前の水準に向けて着実に回復しつつある。現代的課題と市民ニーズを踏まえた生涯学習支援やオンライン講座などのICTを活用した新たな取組、市民が学習成果を社会に還元する機会の創出、人材バンク制度に関する丁寧な制度周知、総合野外活動センターの指定管理者との連携による新たな取組の検討などにより、それぞれの件数増加に努める。
- ・図書館の利用しやすさについての調査は、「第3次図書館事業計画」の策定時(令和7年度)にアンケートを予定している。

外部委員評価・意見等

生涯学習に関しては、コロナ禍によりかなり制約を受けていたと思われるが、5類移行後、コロナ前の状況に戻りつつあるものと思われる。生涯学習講座の参加者数が令和4年度より大幅に増加し、令和元年度の水準近くまでに回復している。生涯学習の講座については、多様なものが開設され、充実していると思う。ICTの活用などにより、新たな学びの機会の提供にも取り組んでいる。今後、さらに充実し、参加者数が目標を上回ることが期待できるように思う。

図書館に関わる事業についても、蔵書更新にも積極的に取り組まれ、目標を達成している。図書館サービスの充実が進んでいると思う。令和4年度7月から開始した電子図書館学校連携事業については、電子図書の整備を進めるとともに、小中学生にIDカードを配布するなどして読書機会の提供に取り組んでいる。施策5の読書活動の目標にも資することが期待できる。図書館と学校教育とが連携を深めていくことは重要だと思う。

施策6 の主な取組(事業)

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター																																	
		決算額	1,649 千円																																	
事業内容	宇治市教育振興基本計画に基づき、生涯学習センター及び公民館などで、市民のライフステージに対応した講座・イベントを実施し、学習の機会を提供する。																																			
成果・実績	学習機会の提供・充実																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加者数 (延べ人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報社会を主体的に生きるには ～メディアリテラシーとチャットGPTを学ぶ～</td> <td>2回</td> <td>78人</td> </tr> <tr> <td>夏休み子ども わくわくフェア(2日間)</td> <td>1回</td> <td>1,098人</td> </tr> <tr> <td>小学生のための英語教室 バナナ? Banana? それって英語、それとも日本語?</td> <td>1回</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>宇治鳳凰大学(4コース)</td> <td>33回</td> <td>1,657人</td> </tr> <tr> <td>宇治鳳凰大学祭</td> <td>1回</td> <td>181人</td> </tr> <tr> <td>源氏物語とそのゆかりの植物</td> <td>2回</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>金融経済講座～紫式部とお札の肖像たち～</td> <td>1回</td> <td>158人</td> </tr> <tr> <td>シニア向けスマートフォン講座</td> <td>11回</td> <td>161人</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー上映会</td> <td>1回</td> <td>180人</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	回数	参加者数 (延べ人数)	情報社会を主体的に生きるには ～メディアリテラシーとチャットGPTを学ぶ～	2回	78人	夏休み子ども わくわくフェア(2日間)	1回	1,098人	小学生のための英語教室 バナナ? Banana? それって英語、それとも日本語?	1回	24人	宇治鳳凰大学(4コース)	33回	1,657人	宇治鳳凰大学祭	1回	181人	源氏物語とそのゆかりの植物	2回	47人	金融経済講座～紫式部とお札の肖像たち～	1回	158人	シニア向けスマートフォン講座	11回	161人	バリアフリー上映会	1回	180人					
	事業名	回数	参加者数 (延べ人数)																																	
	情報社会を主体的に生きるには ～メディアリテラシーとチャットGPTを学ぶ～	2回	78人																																	
	夏休み子ども わくわくフェア(2日間)	1回	1,098人																																	
小学生のための英語教室 バナナ? Banana? それって英語、それとも日本語?	1回	24人																																		
宇治鳳凰大学(4コース)	33回	1,657人																																		
宇治鳳凰大学祭	1回	181人																																		
源氏物語とそのゆかりの植物	2回	47人																																		
金融経済講座～紫式部とお札の肖像たち～	1回	158人																																		
シニア向けスマートフォン講座	11回	161人																																		
バリアフリー上映会	1回	180人																																		
学習情報提供の充実 情報紙「生涯学習情報UJI」年4回 計9,600部 発行																																				
生涯学習団体等の育成・人材養成と活用	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加者数 (延べ人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロビー展示</td> <td>40回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロビー展示 ミニ講習会</td> <td>6回</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>ロビー展示 源氏物語ゆかりの作品展</td> <td>3回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ふれあいワークショップ</td> <td>1回</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>うじ市民活動サポート事業(4事業)</td> <td>13回</td> <td>290人</td> </tr> <tr> <td>Zoom会議のホストステップアップ講座</td> <td>1回</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>ファシリテーション入門講座</td> <td>3回</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>いつもの話し合いがすてきな場になる</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>家庭でできるヘアカット講座</td> <td>7回</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>はじめよう! セカンドライフ</td> <td>4回</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	回数	参加者数 (延べ人数)	ロビー展示	40回		ロビー展示 ミニ講習会	6回	70人	ロビー展示 源氏物語ゆかりの作品展	3回		ふれあいワークショップ	1回	53人	うじ市民活動サポート事業(4事業)	13回	290人	Zoom会議のホストステップアップ講座	1回	8人	ファシリテーション入門講座	3回	49人	いつもの話し合いがすてきな場になる			家庭でできるヘアカット講座	7回	58人	はじめよう! セカンドライフ	4回	40人		
事業名	回数	参加者数 (延べ人数)																																		
ロビー展示	40回																																			
ロビー展示 ミニ講習会	6回	70人																																		
ロビー展示 源氏物語ゆかりの作品展	3回																																			
ふれあいワークショップ	1回	53人																																		
うじ市民活動サポート事業(4事業)	13回	290人																																		
Zoom会議のホストステップアップ講座	1回	8人																																		
ファシリテーション入門講座	3回	49人																																		
いつもの話し合いがすてきな場になる																																				
家庭でできるヘアカット講座	7回	58人																																		
はじめよう! セカンドライフ	4回	40人																																		
生涯学習の基礎づくり	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加者数 (延べ人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おやこっころんど</td> <td>12回</td> <td>331人</td> </tr> <tr> <td>小学生の親のための講座 ～小学校の外国語(英語)教育について～</td> <td>1回</td> <td>33人</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	回数	参加者数 (延べ人数)	おやこっころんど	12回	331人	小学生の親のための講座 ～小学校の外国語(英語)教育について～	1回	33人																										
事業名	回数	参加者数 (延べ人数)																																		
おやこっころんど	12回	331人																																		
小学生の親のための講座 ～小学校の外国語(英語)教育について～	1回	33人																																		
自己評価	情報リテラシーやデジタルスキルをテーマとした講座及びオンライン受講できる講座を工夫して実施できた。新型コロナウイルス感染症の5類移行後、全事業を新型コロナウイルス感染症拡大前と同様の手法またはブラッシュアップした形で実施し、参加者も感染症拡大前の水準に回復しつつある。今後も市民ニーズに応じた事業実施や社会還元への機会創出に努める。																																			

事務事業名	市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)	所管課	生涯学習センター
		決算額	245 千円
事業内容	「つなぐれ・ひろぐれ・まなびの“わ”」をテーマに、生涯学習に取り組んでいる市民の日常活動の発表及び交流の場、これから何かを始めたい市民のきっかけづくりの場として、「市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)」を開催する。		
成果・実績	<p>宇治まなびんぐフェスタ2024 市民公募による実行委員会形式で開催した。実行委員(17人)が準備及び当日運営を、当日のボランティア(6人)も出展者補助等を積極的に行った。</p> <p>開催日 令和6年2月17日(土)～2月18日(日) 出展者 40団体・個人(初出展者は6団体) 参加延べ人数 913人</p>		
	 <p>実行委員</p>	 <p>オープニングイベント</p>	
自己評価	新型コロナウイルス感染症が5類に移行して初めての開催となり、参加者数は感染症拡大前の令和元年度を上回った。また、オープニングイベントや出展者のPRタイムなど、新しい実施方法に取り組めた。今後も実行委員の前向きなアイデアを大事にしながら、出展者・参加者・実行委員が学び合う場の充実を図る。		

事務事業名	障害者教室開催費	所管課	生涯学習課												
		決算額	64 千円												
事業内容	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種類に応じた障害者教室を開催する。														
成果・実績	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、全ての教室及び講座を再開し、延べ134人の参加があった。</p> <p>各障害者教室開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やまぶき学級</td> <td>心身障害者</td> <td>74人</td> </tr> <tr> <td>合同社会見学</td> <td>市内在住・在勤</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>合同講座(一般含む)</td> <td>市内在住・在勤</td> <td>33人</td> </tr> </tbody> </table>			内容	対象者	人数	やまぶき学級	心身障害者	74人	合同社会見学	市内在住・在勤	27人	合同講座(一般含む)	市内在住・在勤	33人
	内容	対象者	人数												
やまぶき学級	心身障害者	74人													
合同社会見学	市内在住・在勤	27人													
合同講座(一般含む)	市内在住・在勤	33人													
自己評価	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、全ての事業を再開することができた。障害がある人・ない人が共に学び、共生社会の形成に向けて市民の共通理解が進むよう、今後も障害者団体やボランティアと連携しながら効果的な事業運営に努める。														

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課																																																																																																		
		決算額	1,432千円																																																																																																		
事業内容	公民館を拠点として活動する市民がより住みよい地域づくりの担い手として活動するため、市民がいつでも気軽に利用できる公民館を目指し、地域住民の学習意欲及び社会の変化に対応する各種講座及び教室の開設、文化活動事業など学習機会を提供する。																																																																																																				
成果・実績	決算額内訳 中央公民館 497千円 宇治公民館 15千円 木幡公民館 308千円 小倉公民館 334千円 広野公民館 278千円																																																																																																				
	高齢者を対象とした事業(公民館高齢者教室)																																																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>公民館名</th> <th>事業名</th> <th>講座数</th> <th>参加者数 (延べ人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央</td> <td>宇治鳳凰学級</td> <td>6回</td> <td>371人</td> </tr> <tr> <td>木幡</td> <td>木幡許乃国教室</td> <td>6回</td> <td>377人</td> </tr> <tr> <td>小倉</td> <td>小倉蓮の実教室</td> <td>6回</td> <td>461人</td> </tr> <tr> <td>広野</td> <td>広野久里古教室</td> <td>6回</td> <td>410人</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	講座数	参加者数 (延べ人数)	中央	宇治鳳凰学級	6回	371人	木幡	木幡許乃国教室	6回	377人	小倉	小倉蓮の実教室	6回	461人	広野	広野久里古教室	6回	410人																																																																														
	公民館名	事業名	講座数	参加者数 (延べ人数)																																																																																																	
	中央	宇治鳳凰学級	6回	371人																																																																																																	
	木幡	木幡許乃国教室	6回	377人																																																																																																	
	小倉	小倉蓮の実教室	6回	461人																																																																																																	
	広野	広野久里古教室	6回	410人																																																																																																	
	子どもを対象とした事業、公民館まつりなど																																																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>公民館名</th> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加者数 (延べ人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">中央</td> <td>子どもの遊び場</td> <td>12回</td> <td>222人</td> </tr> <tr> <td>夏休み親子木工教室</td> <td>3回</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>人形劇フェスティバル</td> <td>1回</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>成人講座(フラダンス入門)</td> <td>3回</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>宇治の形・学びの広場</td> <td>1回</td> <td>67人</td> </tr> <tr> <td>春を呼ぶサタデーコンサート</td> <td>1回</td> <td>126人</td> </tr> <tr> <td>中央公民館まつり(2日間)</td> <td>1回</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宇治</td> <td>トマトケチャップづくり講習会</td> <td>1回</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>味噌づくり講習会</td> <td>2回</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">木幡</td> <td>こはた大発見</td> <td>1回</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部</td> <td>4回</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>チャレンジ・やってみよう</td> <td>4回</td> <td>78人</td> </tr> <tr> <td>夏休みはなまる工作教室</td> <td>1回</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>楽しい小学生科学実験教室</td> <td>1回</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>手づくりみそづくり</td> <td>2回</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>木幡公民館まつり(3日間)</td> <td>1回</td> <td>260人</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">小倉</td> <td>おぐらクッキングクラブ</td> <td>5回</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>子ども教室(親子農業体験)</td> <td>3回</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td>夏休み子どもふれあい広場</td> <td>1回</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>お茶を使ったスイーツづくり</td> <td>2回</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>子ども教室(書き初め教室)</td> <td>1回</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>手づくり味噌講習会</td> <td>3回</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>小倉公民館まつり(2日間)</td> <td>1回</td> <td>367人</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">広野</td> <td>子ども茶道教室</td> <td>8回</td> <td>84人</td> </tr> <tr> <td>科学の教室</td> <td>3回</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>サークル活動展(水彩画・水墨画)</td> <td>1回</td> <td>141人</td> </tr> <tr> <td>夏休み親子木工教室</td> <td>1回</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>音楽の広場</td> <td>1回</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>手づくり味噌講習会</td> <td>2回</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>広野公民館まつり(1日間)</td> <td>1回</td> <td>600人</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	回数	参加者数 (延べ人数)	中央	子どもの遊び場	12回	222人	夏休み親子木工教室	3回	38人	人形劇フェスティバル	1回	150人	成人講座(フラダンス入門)	3回	29人	宇治の形・学びの広場	1回	67人	春を呼ぶサタデーコンサート	1回	126人	中央公民館まつり(2日間)	1回	600人	宇治	トマトケチャップづくり講習会	1回	8人	味噌づくり講習会	2回	30人	木幡	こはた大発見	1回	30人	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	4回	53人	チャレンジ・やってみよう	4回	78人	夏休みはなまる工作教室	1回	12人	楽しい小学生科学実験教室	1回	15人	手づくりみそづくり	2回	20人	木幡公民館まつり(3日間)	1回	260人	小倉	おぐらクッキングクラブ	5回	90人	子ども教室(親子農業体験)	3回	160人	夏休み子どもふれあい広場	1回	10人	お茶を使ったスイーツづくり	2回	16人	子ども教室(書き初め教室)	1回	40人	手づくり味噌講習会	3回	30人	小倉公民館まつり(2日間)	1回	367人	広野	子ども茶道教室	8回	84人	科学の教室	3回	28人	サークル活動展(水彩画・水墨画)	1回	141人	夏休み親子木工教室	1回	14人	音楽の広場	1回	55人	手づくり味噌講習会	2回	20人	広野公民館まつり(1日間)	1回
公民館名	事業名	回数	参加者数 (延べ人数)																																																																																																		
中央	子どもの遊び場	12回	222人																																																																																																		
	夏休み親子木工教室	3回	38人																																																																																																		
	人形劇フェスティバル	1回	150人																																																																																																		
	成人講座(フラダンス入門)	3回	29人																																																																																																		
	宇治の形・学びの広場	1回	67人																																																																																																		
	春を呼ぶサタデーコンサート	1回	126人																																																																																																		
	中央公民館まつり(2日間)	1回	600人																																																																																																		
宇治	トマトケチャップづくり講習会	1回	8人																																																																																																		
	味噌づくり講習会	2回	30人																																																																																																		
木幡	こはた大発見	1回	30人																																																																																																		
	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	4回	53人																																																																																																		
	チャレンジ・やってみよう	4回	78人																																																																																																		
	夏休みはなまる工作教室	1回	12人																																																																																																		
	楽しい小学生科学実験教室	1回	15人																																																																																																		
	手づくりみそづくり	2回	20人																																																																																																		
木幡公民館まつり(3日間)	1回	260人																																																																																																			
小倉	おぐらクッキングクラブ	5回	90人																																																																																																		
	子ども教室(親子農業体験)	3回	160人																																																																																																		
	夏休み子どもふれあい広場	1回	10人																																																																																																		
	お茶を使ったスイーツづくり	2回	16人																																																																																																		
	子ども教室(書き初め教室)	1回	40人																																																																																																		
	手づくり味噌講習会	3回	30人																																																																																																		
小倉公民館まつり(2日間)	1回	367人																																																																																																			
広野	子ども茶道教室	8回	84人																																																																																																		
	科学の教室	3回	28人																																																																																																		
	サークル活動展(水彩画・水墨画)	1回	141人																																																																																																		
	夏休み親子木工教室	1回	14人																																																																																																		
	音楽の広場	1回	55人																																																																																																		
	手づくり味噌講習会	2回	20人																																																																																																		
広野公民館まつり(1日間)	1回	600人																																																																																																			
自己評価	高齢者教室において、講師がオンラインで講義し高齢者が公民館で受講する講座を初めて実施した。今後も社会環境の変化に応じて、高齢者の外出及び学習の機会となる講座や子どもへの体験活動の提供、各館の立地を生かした事業などを行い、市民の学びの場の確保に取り組む。																																																																																																				

事務事業名	総合野外活動センター管理運営費	所管課	生涯学習課																										
		決算額	121,418 千円																										
事業内容	「自然とのふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、(公財)宇治市野外活動センターを指定管理者として、総合野外活動センター「アクトパル宇治」の施設管理・運営を行う。センターの各施設を活用した野外活動、宿泊研修、スポーツ活動などを行う。																												
成果・実績	<p>野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民のふれあいの場を提供する等、生涯学習の推進を図った。平成11年度から令和5年度までの延べ利用者数は約212万人となった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施した休所・利用制限の影響で、大幅に減少していた利用者数については、感染症拡大以前の状況に戻りつつある。</p> <p>利用者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>96,965</td> <td>62,133</td> <td>45,901</td> <td>77,849</td> <td>90,091</td> </tr> <tr> <td> 宿泊</td> <td>30,787</td> <td>8,401</td> <td>11,516</td> <td>24,655</td> <td>30,450</td> </tr> <tr> <td> 日帰り</td> <td>66,178</td> <td>53,732</td> <td>34,385</td> <td>53,194</td> <td>59,641</td> </tr> </tbody> </table>					年度	R1	R2	R3	R4	R5	合計	96,965	62,133	45,901	77,849	90,091	宿泊	30,787	8,401	11,516	24,655	30,450	日帰り	66,178	53,732	34,385	53,194	59,641
	年度	R1	R2	R3	R4	R5																							
合計	96,965	62,133	45,901	77,849	90,091																								
宿泊	30,787	8,401	11,516	24,655	30,450																								
日帰り	66,178	53,732	34,385	53,194	59,641																								
自己評価	指定管理者により、適切に管理運営を実施した。コロナ禍で落ち込んだ利用者数が回復傾向にある中で、近年高まっている野外活動のニーズに応えられるよう指定管理者との連携を深めながら事業実施に努める。また、教育施設として利用者自身が学び考える力を育む活動や笠取地域の地域振興につながる事業に取り組む。																												

事務事業名	総合野外活動センター再整備事業費	所管課	生涯学習課			
		決算額	45,109 千円			
事業内容	来場者が安全・安心に施設利用できるように、大規模修繕を計画的に実施する。					
成果・実績	<p>老朽化が進んでいた管理棟や周辺施設の放送設備を更新した。併せて管理棟厨房の給排気ファンの更新に係る改修設計を実施した。</p> <p>管理棟厨房用給排気ファン改修設計 2,338千円 管理棟ほか放送設備改修工事 42,771千円</p>					
	自己評価	緊急時の放送などを確実にを行うため、老朽化が進んでいた放送設備を更新した。引き続き、安全・安心な施設利用を継続できるよう修繕計画を立て、計画的な改修等に着手に取り組む。				

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館			
		決算額	17,889 千円			
事業内容	市民等の読書活動、生涯学習、調査研究、課題解決などを支援するため、図書、雑誌、新聞、郷土資料、行政資料などの図書館資料を幅広く収集して提供し、長期的に保存すると共に、読書推進や課題解決のための講座、朗読会、おはなし会など様々な企画事業を実施する。					
成果・実績	中央図書館資料提供費 10,829千円 東宇治図書館資料提供費 3,530千円 西宇治図書館資料提供費 3,530千円					
	資料数					
		館名	購入冊数 (冊)	年度末蔵書数 (冊)	受入雑誌 (誌)	購入新聞 (紙)
		中央図書館	3,457	181,184	82	10
		東宇治図書館	1,573	62,747	50	8
		西宇治図書館	1,671	71,067	47	8
		合計	6,701	314,998	179	26
	利用状況					
		館名等	貸出点数 (点)	延べ貸出者数 (人)	登録者数 (人)	市民登録率 (%)
		中央図書館	315,159	77,601		
	東宇治図書館	145,372	38,219			
	西宇治図書館	147,776	40,688			
	団体貸出	4,658				
	合計	612,965	156,508	60,405 うち市外1,412	32.7	
団体貸出 13団体(地域・家庭文庫、笠取地区、青少年センター、Ujiふれあい教室)に4,504冊の貸出を行った。また、12の幼稚園及び小・中学校に、154冊の学校等団体貸出しを行った。						
予約図書配本サービス 利用者の利便性向上を図るため、事前に予約された図書を、週1回、公共施設等に設置した7か所の配本所に搬送し、16,756冊の貸出を行った。						
資料の活用(リサイクル事業:年1回) 図書館資料の有効活用を図るため、リサイクル市を開催し、除籍図書及び保存期限が経過した雑誌等を市民に提供した。 ・提供冊数 4,201冊						
テーマ図書展示 季節や時事等に応じ、様々なテーマの図書展示を行った。						
	・成人書	中央図書館 「時代小説を愉しむ」他45回 東宇治図書館「違いを認め合おう」他21回 西宇治図書館「気ままに出かけよう」他20回				
	・児童書	中央図書館 「世界中みんな友達」他19回 東宇治図書館「ほら、はるがきた」他15回 西宇治図書館「もりのおともだち」他16回				

成果・実績

読書推進事業等

読書活動及び生涯学習の推進のため、朗読会、講座、おはなし会等を行った。

・成人向け

中央図書館 読書週間記念講演会 :延べ参加者187人
 「文学でたどる宇治 - 和歌に登場する橋姫は
 橋姫神社の橋姫? - 」他11回

東宇治図書館 読書週間記念講演会 :延べ参加者 41人
 「セカンドライフと生命保険」他4回

西宇治図書館 読書推進講座 :延べ参加者111人
 「弥次さん喜多さん達の見た京都」他7回

・児童向け

中央図書館 科学実験教室「石や砂のふしぎ」他12回 :延べ参加者311人
 東宇治図書館 「わくわく! コラボおはなし会「人形劇」×えほん」 他7回 :延べ参加者269人
 西宇治図書館 「西宇治図書館クイズラリー」他5回 :延べ参加者659人

課題解決支援事業

地域の課題解決を支援するための事業を実施した。

中央図書館 不登校児童生徒読書活動支援事業 :延べ参加者 26人
 教育支援課(Ujiふれあい教室)と共催
 図書館のスマートフォン体験講座 6回 :延べ参加者 60人
 東宇治図書館 図書館のスマートフォン体験講座 3回 :延べ参加者 23人
 西宇治図書館 図書館のスマートフォン体験講座 3回 :延べ参加者 25人

行政支援サービス

図書館の豊富な資料等を行政団体貸出により市内各課に提供し、行政課題の解決や職員のスキルアップを支援し、ひいては市民サービスの向上を図った。

中央図書館 利用所属数 延べ15所属、貸出冊数196冊

おはなし会(出張おはなし会を含む)

館名	回数	参加者数	内容
中央図書館	34	532	絵本の読み聞かせ、紙芝居、ペーパーサートなど
東宇治図書館	29	493	
西宇治図書館	40	343	

学校等連携

館名	図書館見学等 (小学校・幼稚園等)		中学生の 職場体験学習等	
	学校等の数	参加者人数	学校数	人数
中央図書館	4	120	6	12
東宇治図書館	3	191	2	4
西宇治図書館	1	30	3	6

自己評価

幅広い資料の収集や企画事業などの取組により、豊富な知識・情報の提供を行い、市民の読書活動や生涯学習を促進することができた。今後も社会状況の変化に伴う多様化・高度化したニーズへの対応に努める。

事務事業名	電子図書館サービス事業費(学校連携事業含む)	所管課 決算額	中央図書館 13,413 千円																		
事業内容	<p>利用者がインターネット上の電子図書館サイトにアクセスすることで、いつでもどこでも電子書籍の貸出や閲覧などができるサービスを提供する。また、学校連携事業として、宇治市立学校に在籍する小学校3年生以上の全小中学生に電子図書館を利用できる環境を整備する。</p>																				
成果・実績	<p>学校や家庭などでいつでも電子図書が読める環境を作り読書意欲を喚起するとともに、読書活動や学習活動を推進することを目的として、5月に宇治市立学校に在籍する小学校3年生及び中学校1年生に電子図書館の学校連携専用IDカードを配布した。</p> <p>利用状況等</p> <table border="0" data-bbox="375 638 845 996"> <tr> <td>電子書籍点数</td> <td>22,570点</td> </tr> <tr> <td>・ 図書館分</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 登録者数</td> <td>5,362人</td> </tr> <tr> <td> 貸出人数</td> <td>6,401人</td> </tr> <tr> <td> 貸出点数</td> <td>10,397点</td> </tr> <tr> <td>・ 学校連携分</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 登録者数</td> <td>11,274人</td> </tr> <tr> <td> 貸出人数</td> <td>30,611人</td> </tr> <tr> <td> 貸出点数</td> <td>72,929点</td> </tr> </table> <div data-bbox="922 616 1396 896" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">電子図書館サービス</p>			電子書籍点数	22,570点	・ 図書館分		登録者数	5,362人	貸出人数	6,401人	貸出点数	10,397点	・ 学校連携分		登録者数	11,274人	貸出人数	30,611人	貸出点数	72,929点
電子書籍点数	22,570点																				
・ 図書館分																					
登録者数	5,362人																				
貸出人数	6,401人																				
貸出点数	10,397点																				
・ 学校連携分																					
登録者数	11,274人																				
貸出人数	30,611人																				
貸出点数	72,929点																				
自己評価	<p>来館せず電子書籍を読むことができる本サービスは、書籍点数も増え、登録者数も増加している。また、令和4年7月から開始した学校連携事業については、今年度においても同様に専用IDカードを配布しており、読書習慣のない小中学生が本に触れたり、家族で図書館を訪れるきっかけを提供できた。今後も電子図書館サービスの充実に努める。</p>																				

施策7 歴史と文化の継承・活用

推進施策

- (1) 歴史・文化に対する市民の意識向上
- (2) 歴史資料・伝統文化の収集・保存・活用
- (3) 歴史資料館の充実・活用
- (4) 源氏物語ミュージアムの充実・活用

	基準値	実績値				目標値
	令和2年度 (2020年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和7年度 (2025年度)
歴史資料館収蔵資料のデジタル化(累計)	1,000点	3,000点	4,000点			6,000点
源氏物語ミュージアム講座等参加者数	742人	1,911人	2,321人			2,200人
市内の指定(登録)文化財の件数	224件	233件	235件			236件
有形文化財(建築物・美術工芸品)としての価値を失ったものの件数	0件	0件	0件			0件
市民への情報発信及び啓発活動に係る事業の件数	7件 (R1)	4件	6件			10件
重要文化的景観に係る家屋の修理修景事業の件数(累計)	24件	27件	30件			32件

1 網掛けは目標値を達成している指標です。

取組の効果

- ・ 歴史資料館では、開館以来、資料の収集・保存に努めており、企画展や歴史講座等での資料の活用を図っている。
- ・ 令和5年度においては、のべ12校の市内小学校で出前授業を実施するなど、児童への教育普及活動に取り組んだ。
- ・ 文化財行政では、収蔵資料のデジタル化を進めるとともに、史跡の保護や重要文化的景観の修理修景事業などを通して、文化財等の保護を進め、市民の歴史意識の醸成に寄与した。
- ・ 源氏物語ミュージアムでは、これまで取り組んできた「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の効果や、大河ドラマ「光る君へ」(NHK)を契機に源氏物語への関心が高まったことで、講座等参加者数が順調に増加、目標値を達成した。
- ・ 空調機器改修工事の遅延により空調の稼働が遅れたものの、ゴールデンウィーク前には仮設空調機器を設置し来館者の利便を図った。

今後の方向性・課題等

- ・ 今後も各種施策を推進し、歴史資料や伝統文化を保存・活用することにより、市民の歴史・文化意識の醸成を目指す。
- ・ 令和6年度も、「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」と連携して各種事業を進める。
- ・ 引き続き、史跡の保護や重要文化的景観の修理修景事業などを通して文化財保護の取組を進めるとともに、「発掘宇治」などのパンフレットの作成・配布や、「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」などの情報発信を強化し、市民の歴史・文化に対する意識の向上を目指す。

外部委員評価・意見等

施策7に関わる取組については、その目標値に関わるものは、いずれも令和4年度よりも増加しており、着実に目標に近づいている。特に、源氏物語ミュージアムについては、「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の取組や大河ドラマの効果により、参加者数が著しく増大しているのが注目される。放送される令和6年度にはさらに増加することが期待できると思う。この機会を生かして、一時的なブームに終わることがないように、その価値を伝える取組が重要になると思う。観光レジャーによって、文化財などが消費されるのではなく、その価値を理解し、継承していく意識を育てていくことが大切であると思う。講座の開催や文化財の公開をはじめ、公民館等での学習会の開設など生涯学習の施策としても取り組んでいくことが考えられると思う。

施策7 の主な取組(事業)

事務事業名	歴史資料館調査研究費	所管課	博物館管理課(歴史資料館)
		決算額	262 千円
事業内容	宇治市関係歴史資料について、旧家及び社寺、博物館などが所蔵する資料の調査を行い、データの充実を図るとともに、収蔵資料調査報告書により成果を広く公開する。		
成果・実績	宇治市平和都市推進協議会から寄託された戦争遺品の紹介とともに、これらを活用した展覧会の開催状況、および館蔵の戦争関係資料についてまとめた「収蔵資料調査報告書26 戦争関係資料3」を刊行した。 収蔵資料調査報告書発行数 400部		 <p>「収蔵資料調査報告書26 戦争関係資料3」</p>
	自己評価		

事務事業名	歴史資料館資料収集保存費	所管課	博物館管理課(歴史資料館)
		決算額	599 千円
事業内容	資料を収集して充実を図るとともに、これらをより良い状態で後世に伝えるため、資料の燻蒸及び収蔵庫の環境維持に努める。		
成果・実績	宇治市関係歴史資料として下記の資料を購入した。 主な購入資料 ・売薬版画 宇治川先陣之図 ・宇治信楽諸国御茶所 本家豊田甚右衛門引札 ・ザ・グラフィック 石版挿絵入り週刊新聞「日本の茶摘み風景」		 <p>売薬版画 宇治川先陣之図</p>
	自己評価		

事務事業名	歴史資料館展示活動費	所管課	博物館管理課(歴史資料館)
		決算額	438 千円
事業内容	宇治市の歴史に関する多様なテーマについて、調査・研究の成果を市民に還元し、後世に伝えるため、特別展、企画展、常設展及び関連事業を実施する。開館以来収集してきた資料を中心に、実物資料、写真パネル、映像資料を組み合わせ、市民が親しみやすい展示に努める。		
成果・実績	宇治の歴史及び文化財に関する様々な視点からテーマを設定し、展覧会を開催した。令和5年度は、企画展を5回開催した。		
	企画展		
	展覧会名	会期	入館者数
	発掘ものがたり宇治・2023 (1)	令和5年2月25日～4月23日	237人
	お茶の歴史資料	5月13日～6月25日	845人
	戦争遺品展 戦時中の暮らし	7月8日～9月3日	1,433人
	写真・新聞で振り返る昭和28年災害	9月16日～11月26日	1,286人
	ちょっと昔の街と暮らし 昭和の子どもたち	12月9日～令和6年2月4日 [1月8日臨時開館]	1,252人
発掘ものがたり宇治・2024 (2)	令和6年2月17日～4月21日	1,014人	
	合計	6,067人	
	(1) 入館者数は、令和5年4月1日から4月23日までの値。		
	(2) 入館者数は、令和6年2月17日から3月31日までの値。		
自己評価	市民が宇治の歴史や文化を身近に感じられるテーマを選び、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、企画展を実施した。展覧会を通して、市民が継続的に歴史資料に親しみ、その重要性を知る機会を提供し、宇治の歴史や文化について理解を深めることができるよう、今後も工夫を凝らした展示の実施に努める。		

事務事業名	歴史資料館教育普及活動費	所管課	博物館管理課(歴史資料館)		
		決算額	40 千円		
事業内容	歴史講座等を開催し、調査・研究成果を広く公開する。市民の歴史研究に資するとともに、博物館活動への理解を深める。				
成果・実績	歴史講座を3回、展覧会関連事業を2回実施し、市民への教育普及活動に努めた。				
	歴史講座				
		講座名	講師	開催日	参加者数
		榎島にみる室町・戦国時代 - 城・館・郭とその周辺 -	博物館管理課 学芸員	令和6年1月19日	63人
		宇治の神々	京都国立博物館 名誉館員 伊東史朗氏	令和6年2月4日	61人
	「唐物」と国風文化 - 紫式部がみたもの・かいたこと -	歴史資料館 館長	令和6年3月28日	65人	
		合計		189人	
	展覧会関連事業 ・事業数:2回 ・参加者数:18人				
	市内小学校への出前授業 ・実施数:のべ12校				
自己評価	新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、多様な世代の市民に向けた各講座を開催した。今後も、講座を通して、宇治の歴史と文化や博物館活動について、持続的に市民が関心を持ち、理解を深める機会を提供するよう努める。				

事務事業名	源氏物語ミュージアム広報活動費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)	
		決算額	1,144 千円	
事業内容	「源氏物語をテーマとしたまちづくり」の中核的役割を担う施設として、初めての来館者の獲得をはじめ、リピーターの増加を目指し、広報宣伝活動を行う。			
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別企画展に合わせて、近畿地方に近い東海地方からの誘客を図るため、JR名古屋駅地下通路にデジタルサイネージを1ヶ月間掲出するとともに、名古屋市内の大河ドラマを視聴する45歳以上をターゲットにして、インターネットなどの電子媒体にWEB広告を配信した。 ・ また、年間を通じてインバウンド向け情報誌に広告を掲載したほか、令和5年9月～令和6年3月初旬の間、京都府内のホテルや旅館700施設の各部屋に常設される観光情報誌に、当館の広告を掲載した。 			
自己評価	年間を通じて行う当館の魅力を発信する広報活動と共に、特別企画展に合わせて実施する短期集中的な広報活動を行うことによって、計画的で効果的な広報活動が実施できた。引き続き、大河ドラマ「光る君へ」(NHK)を契機とする来館者の増加に向けて、計画的、かつ効果的な広報活動に努める。			

事務事業名	源氏物語ミュージアム企画展示費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)																				
		決算額	1,387 千円																				
事業内容	<p>話題性のある企画展の開催はミュージアムの広報・宣伝にもつながり、企画展を目的としたリピーターを含む来館者を誘致する。館蔵品のみではなく、他館及び関係者から作品・資料を借用し、毎回テーマを決めて魅力ある展示を行う。</p>																						
成果・実績	<p>様々な視点から趣向を凝らし、源氏物語及び平安時代の文化を紹介する展示を行った。令和5年度は、宇治や周辺地域に残る史料から、徳川幕府と宇治郷や御茶師との関係を紹介する企画展「徳川幕府と宇治」や、江戸時代に刊行された地誌と共に宇治の名所を紹介する企画展「名所図でめぐる宇治十二景」などの企画展を年4回開催した。</p>																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">企画展</th> </tr> <tr> <th>企画展名</th> <th>会期</th> <th>観覧者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>徳川幕府と宇治</td> <td>5月17日～7月9日</td> <td>13,451 人</td> </tr> <tr> <td>源氏ワンダーランド</td> <td>7月12日～9月10日</td> <td>13,401 人</td> </tr> <tr> <td>宇治と憂し - ゆめかうつつか -</td> <td>9月13日～11月26日</td> <td>25,816 人</td> </tr> <tr> <td>名所図でめぐる宇治十二景</td> <td>令和6年2月7日～ 4月21日(*)</td> <td>34,011 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td>86,679 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(*)観覧者数は令和6年3月31日までの値</p>			企画展			企画展名	会期	観覧者数	徳川幕府と宇治	5月17日～7月9日	13,451 人	源氏ワンダーランド	7月12日～9月10日	13,401 人	宇治と憂し - ゆめかうつつか -	9月13日～11月26日	25,816 人	名所図でめぐる宇治十二景	令和6年2月7日～ 4月21日(*)	34,011 人	合計	
企画展																							
企画展名	会期	観覧者数																					
徳川幕府と宇治	5月17日～7月9日	13,451 人																					
源氏ワンダーランド	7月12日～9月10日	13,401 人																					
宇治と憂し - ゆめかうつつか -	9月13日～11月26日	25,816 人																					
名所図でめぐる宇治十二景	令和6年2月7日～ 4月21日(*)	34,011 人																					
合計		86,679 人																					
自己評価	<p>大河ドラマ「光る君へ」(NHK)を契機にした宇治の歴史・文化などの魅力を発信する「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」との連携事業として、宇治の歴史や名所、そして「源氏物語」をはじめとする古典の魅力を紹介する企画展を実施した。連携事業によって、多くの観覧者にその魅力を発信することができた。</p>																						

事務事業名	源氏物語ミュージアム特別企画展示費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	1,090 千円
事業内容	特別企画展は、歴史資料館の特別展と隔年で実施してきており、令和5年度は、令和6年1月から放送される大河ドラマ「光る君へ」(NHK)の放送にあわせて、源氏物語ミュージアムで実施した。		
成果・実績	<p>『源氏物語』を描いた屏風や画帖、錦絵のほか、名誉館長であった瀬戸内寂聴、与謝野晶子、田辺聖子といった女性の作家や歌人による現代語訳の実物原稿などの展示を通して、宇治十帖をはじめとする『源氏物語』の世界を紹介した。</p> <p>特別企画展 このわたり薫る君やさぶらぶ ・令和5年11月29日～令和6年2月4日 ・観覧者数 20,288人</p> 		
自己評価	大河ドラマ「光る君へ」(NHK)を契機にした宇治の歴史・文化などの魅力を発信する「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」との連携事業として実施した。プロジェクトの連携や計画的で効果的な広報活動を通じて、宇治十帖をはじめとする『源氏物語』の魅力をより多くの観覧者に発信することができた。		

事務事業名	源氏物語ミュージアム長寿命化事業費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	990 千円
事業内容	源氏物語ミュージアムは平成10年開館後20年以上が経過したが、より長期的に施設の機能を維持するために改修を行い、施設の長寿命化を図る。		
成果・実績	高圧電気設備改修の設計業務委託を行った。		
自己評価	高圧電気設備改修の設計業務委託を実施することができた。今後も施設の長寿命化に努める。		

事務事業名	源氏物語ミュージアム講座等開催費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)																										
		決算額	633 千円																										
事業内容	源氏物語及び平安時代の文化について、より理解を深めるために、講演会及び講座などを実施する。ミュ - ジアムの展示を観覧し、源氏物語及び平安時代の文化について、興味・関心を抱いた来館者のニーズに応え、さらに学ぶ機会を提供するとともに、より多くの人にミュ - ジアムの存在を知ってもらおうきっかけをつくる。																												
成果・実績	連続講座や源氏物語セミナーなどでは、最新の研究成果を織り交ぜた講演により、より深く学べる場と古典に親しむ機会を提供した。																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>期間</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連続講座「私の「光る君」へ」(全10回) (*1)</td> <td>5月～令和6年3月</td> <td>1,267 人</td> </tr> <tr> <td>入門講座「超！入門講座 宇治で源氏物語を読むために」(全9回) (*2)</td> <td>6月～令和6年2月</td> <td>755 人</td> </tr> <tr> <td>源氏物語セミナー「紫式部たちの物語る仏教の信仰と場 - 法華経と念仏、そして宇治の苑池 - 」</td> <td>10月17日</td> <td>79 人</td> </tr> <tr> <td>特別企画展関連企画「薫りにきく宇治十帖 - 花と香 - 」</td> <td>令和6年1月11日</td> <td>84 人</td> </tr> <tr> <td>特別企画展関連講座鼎談「宇治十帖の5人～男二人と女三人の生きざまを考える～」</td> <td>令和6年1月25日</td> <td>42 人</td> </tr> <tr> <td>大人と子ども能楽鑑賞会「能楽玉手箱」</td> <td>令和6年1月27日</td> <td>89 人</td> </tr> <tr> <td>子ども体験型教室ワークショップ「三葉虫を調べよう！」</td> <td>令和6年3月23日</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td>2,321 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(*1)会場を変更して実施。 (*2)会場を変更して実施。</p>			講座名	期間	参加者数	連続講座「私の「光る君」へ」(全10回) (*1)	5月～令和6年3月	1,267 人	入門講座「超！入門講座 宇治で源氏物語を読むために」(全9回) (*2)	6月～令和6年2月	755 人	源氏物語セミナー「紫式部たちの物語る仏教の信仰と場 - 法華経と念仏、そして宇治の苑池 - 」	10月17日	79 人	特別企画展関連企画「薫りにきく宇治十帖 - 花と香 - 」	令和6年1月11日	84 人	特別企画展関連講座鼎談「宇治十帖の5人～男二人と女三人の生きざまを考える～」	令和6年1月25日	42 人	大人と子ども能楽鑑賞会「能楽玉手箱」	令和6年1月27日	89 人	子ども体験型教室ワークショップ「三葉虫を調べよう！」	令和6年3月23日	5 人	合計	
講座名	期間	参加者数																											
連続講座「私の「光る君」へ」(全10回) (*1)	5月～令和6年3月	1,267 人																											
入門講座「超！入門講座 宇治で源氏物語を読むために」(全9回) (*2)	6月～令和6年2月	755 人																											
源氏物語セミナー「紫式部たちの物語る仏教の信仰と場 - 法華経と念仏、そして宇治の苑池 - 」	10月17日	79 人																											
特別企画展関連企画「薫りにきく宇治十帖 - 花と香 - 」	令和6年1月11日	84 人																											
特別企画展関連講座鼎談「宇治十帖の5人～男二人と女三人の生きざまを考える～」	令和6年1月25日	42 人																											
大人と子ども能楽鑑賞会「能楽玉手箱」	令和6年1月27日	89 人																											
子ども体験型教室ワークショップ「三葉虫を調べよう！」	令和6年3月23日	5 人																											
合計		2,321 人																											
自己評価	大河ドラマ「光る君へ」(NHK)を契機にした宇治の歴史・文化などの魅力を発信する「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」との連携事業として実施した。幅広い世代を対象として、多彩で魅力ある講座やワークショップを提供することができた。																												

事務事業名	源氏物語ミュージアム管理運営費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	201,594 千円
事業内容	源氏物語ミュージアム施設全体の維持管理、建物・展示物のメンテナンス業務及び受付をはじめとする入館者への対応など博物館の維持管理運営業務を行う。		
成果・実績	通常の管理運営業務に加え、令和4年度から繰り越した予算を使い、空調機器改修工事を行った。		
自己評価	適切に館の維持管理、管理運営業務を行うことができた。空調機器改修工事の遅延により空調の稼働が遅れたが、仮設空調機器を設置し来館者の利便を図った。今後も引き続き、館の運営及び維持管理など適切な対応に努める。		

事務事業名	文化的景観保護推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	22,113 千円
事業内容	平成21年2月に「宇治の文化的景観」が都市部の景観としては全国初の重要文化的景観に選定された。平成27年度に策定した整備計画に基づき、重要な構成要素となっている建物の修理・修景工事に補助を行う。		
成果・実績	<p>景観の保全を図るため、重要な構成要素となっている建物の改修について所有者等と調整を行った。修理・修景事業としては、旧茶業会議所床の間補修、中村藤吉本店角屋改修、中村藤吉本店主屋修理の3件の工事に補助を行った。また、文化的景観地区連絡協議会の大会や文化庁の研修に参加するなどして技術力向上を図った。</p>		
	 <p>中村藤吉本店角屋 改修前</p>	➔	 <p>中村藤吉本店角屋 改修後</p>
自己評価	重要構成要素の修理等実施することにより、宇治の文化的景観を保存することができた。引き続き、歴史的な資産と一体となった魅力あふれる宇治のまちづくりを進める必要がある。		

事務事業名	文化財指定推進費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	3,604 千円
事業内容	市内各所に所在する文化財調査を行い、本市にとって歴史上、芸術上価値の高いものを市指定文化財に指定し、伝えられてきた貴重な文化財の保護と活用を図る。併せて国・京都府指定及び未指定文化財の修理等に補助を行い、文化財保護を推進する。		
成果・実績	<p>重要文化財松殿山荘修礼講堂及び事務所ほか1棟の保存修理や、市指定文化財大幣神事など、17件の事業に対して補助を行った。</p>		
	<p>大幣神事</p> 		
自己評価	文化財の修理等への補助を実施したことにより、文化財の保全に努めることができた。引き続き優先順位等を見極めて文化財保護の推進を図るとともに、未指定を含めた文化財の修理等への補助を実施する中で、保存・活用に努める必要がある。		

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査費(受託・国庫補助)	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	6,083 千円
事業内容	文化財保護法に基づいて、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業と重要な遺跡保存の調和を図るため、発掘調査を実施する。また、発掘成果を基に史跡指定等の保存処置の検討を行うほか、市民へ成果を公開する。		
成果・実績	<p>国庫補助事業としては一里山遺跡(広野廃寺)、二子塚古墳の発掘調査を実施し、遺構の分布状況など遺跡の状況把握に努めた。また、開発に伴う埋蔵文化財の保護のため、受託事業として宇治市街遺跡の発掘調査を実施した。</p> <p style="text-align: center;">一里山遺跡 発掘調査の実施状況</p> 		
自己評価	市内に遺存する重要な遺跡について発掘調査及び調査記録作成をすることにより、文化財の保存を図ることができた。		

宇治市教育委員会事務執行の評価に関する総括意見

竺沙知章（京都教育大学教授）

水本徳明（同志社女子大学特任教授）

まとめ

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置付けが5類に移行したことにより、コロナ以前の状況に戻りつつある年度になったと思われる。特に生涯学習関係の事業については、令和4年度にはかなり参加者数が落ち込んでいたのが、令和5年度には増加に転じて、完全ではないもののコロナ以前の状況に近いところまで回復したように思われる。その意味で、学校教育も含めて活気が戻った年度であったように思う。

令和5年度の活動状況を見ると、市長部局と連携して取り組まれているものが目立つようになり、教育委員会の活動の範囲が広がりつつあるという印象を強く受けた。「教育委員の活動状況」にも述べられているように、いじめや不登校への対応、特別な支援を要する児童生徒や外国人児童生徒への支援、放課後の子どもの居場所の確保など、教育委員会だけでは充分に対応できない課題が増えていることが背景にあるが、それとともに、こども基本法の制定、こども家庭庁の創設により、新たな体制で子どもに向き合う施策が必要とされている流れに沿うものであると思う。

その中で就学前の教育に関する活動が注目されると思う。令和4年度には、宇治市乳幼児期の教育・保育のあり方検討委員会が設置され、精力的に協議を重ねられ、「宇治市の乳幼児期の教育・保育の今後のあり方に関する意見書」をまとめておられる。さらに令和5年度には、宇治市乳幼児教育・保育推進協議会が設置され、すべての就学前施設が施設類型を越えたネットワークを構築し、教育・保育の質を上げるための協議が活発に展開されている。会議録の公開だけでなく、通信も頻繁に発行され、取組の状況がよくわかるように工夫されている。その他、不登校児童生徒支援事業費、家庭教育アドバイザー事業費による事業などでも、家庭への支援を強化するために、福祉部局との連携を進めており、重要な取組になっていると思う。

また多様な学びの場創造事業費によるインクルーシブ教育システムの構築、不登校児童支援強化事業による別室指導の取組など、多様な学びの機会や支援の提供に積極的に取り組んでいることも注目される。

ただ気になったのは、非常に重要な事業だと思われる宇治市乳幼児教育・保育推進協議会の活動状況について、教育委員会による点検評価の資料は確認できず、教育委員会としてその活動をどのように評価されているのか、把握できなかった点である。福祉部局と連携して取り組んでいる事業に関する点検評価の進め方を工夫しなければならないのではないかと推察するが、外部評価する際、簡潔なものでもよいので、教育委員会による点検評価の資料をご提供いただければありがたいと思う。

なお、本意見書は、水本徳明(同志社女子大学特任教授)と竺沙知章(京都教育大学教授)とが意見交換を重ねて原案を作成し、最終的には竺沙の責任でまとめたものである。